



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

平成29年度

事業概要



日本赤十字社 福島県支部
Japanese Red Cross Society

人間を救うのは、人間だ。 Our world. Your move.

皆様の愛が、 赤十字の活動を支えています。



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

赤十字は、「人道」「公平」「中立」「独立」「奉仕」「単一」「世界性」の7つの基本原則に則り、生命と健康を守り人間の尊厳を確保するための活動を展開します。私たち赤十字に従事する者は、相互に協力しながら、紛争や災害によっていのちと健康が脅かされている多くの人々に対する救援・救護活動に取り組みます。そして、それぞれの地域や学校等でボランティアの皆さんと一緒に創意ある活動を行います。



災害救護



救護看護師の養成



青少年赤十字（JRC）の育成



社会福祉活動

平成29年度・支部にお寄せいただいた
活動資金（社資）の総額

2億9,591万0,578円



救急法・健康生活支援講習等の普及



赤十字奉仕団



国際活動



東日本大震災復興支援事業



医療事業



血液事業

赤十字の活動資金にご協力をお願いします。

活動資金への協力方法

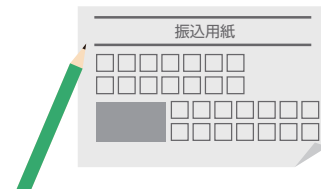
- 地域の自治会や町内会の中でご協力いただく方法。



- 最寄りの市町村／社会福祉協議会の赤十字の窓口へ申し込みいただく方法。



- 日赤の振込用紙でご協力いただく方法。(振込手数料無料)



◎日本赤十字社の創立記念日である5月1日から1ヵ月間は、赤十字運動月間として特に広く社員加入のご案内をしています。

(表1) ●日本赤十字社の表彰

表彰種別	表彰の基準	贈与される表彰品
特別社員	一時又は数次(10年以内)に2万円以上のご協力をいただいた方	特別社員称号贈与通知書、金色バッジ(個人のみ)、陶器製門標(個人のみ)
支部長感謝状	一時又は累計で10万円以上20万円未満のご協力をいただいた方	感謝状
銀色有功章	一時又は累計で20万円以上50万円未満のご協力をいただいた方	銀色有功章(楯)、陶器製門標(大)(個人のみ)、略章
金色有功章	一時又は累計で50万円以上のご協力をいただいた方	個人: 金色有功章、章記、略章 法人: 金色有功章(楯)、略章

※年間100万円以上のご協力については、上記以外の表彰もございますので、詳しくは当支部までお問合せ下さい。

特別社員

支部長感謝状

銀色有功章

金色有功章

(表2) ●日本赤十字社への社費や寄付金に適用される税制上の優遇措置(要旨)

納入者区分	区分	関係根拠法令	適用期間	措置の内容
個人	所得税の控除	所得税法第78条第2項第3号	通 年	寄付金の全額(ただし、上限は寄付者の年間所得総額の40%まで)から2千円を差し引いた額が、寄付者の年間所得総額から控除されます。
	個人住民税の控除	地方税法第37条の2及び同法施行令第7条の17	通 年 (募集金額上限に達した時点で終了)	総理大臣が毎年指定告示する日赤事業に対してなされる寄付金の全額(ただし上限は寄付者の年間所得総額の30%まで)から2千円差し引いた額の10%が寄付者の住民税額から控除されます。(居住地の都道府県支部に寄付の場合のみ適用)
	相続税の非課税	相続税特別措置法第70条	通 年	寄付した相続財産の価格は、相続人の納めるべき相続税の課税価格に算入されません。
法人	法人税の控除(指定寄付金)	法人税法第37条第3項第2号に基づく財務省告示	4月～9月 (募集金額上限に達した時点で終了)	財務大臣が毎年指定告示する日赤事業に対してなされる寄付金の全額が、法人の寄付金損金算入限度額にかかわらず損金の額に算入されます。
	法人税の控除(特定公益増進法人に対する寄付金)	法人税法第37条第4項	通 年	通常の寄付金の損金算入限度額とあわせて、別枠で算出した特定公益増進法人に対する寄付金の損金算入限度額が損金の額に算入されます。

は じ め に

日本赤十字社の事業推進につきましては、平素から社員の皆様をはじめ多くの県民の皆様からご支援とご協力を賜り心より感謝申し上げます。

東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所事故から7年余が経過し、復興に向けた拠点施設の整備進展など明るい光が増してきた一方で、今なお多くの方々が避難生活を続けておられます。

福島県支部では、仮設住宅等での赤十字奉仕団によるボランティア活動や、「にこにこ健康教室」の開催など、関係団体のご協力もいただきながら、被災者の方々に寄り添った復興支援活動を実施してきました。

また、災害への備えとして、「ふくしま防災フェア2017」の開催や青少年赤十字防災教育プログラム「まもるいのち ひろめるぼうさい」の指導者養成を推進するなど、関係機関との連携のもと、防災思想の普及にも努めました。

従来から取り組んでいる災害救護事業をはじめ、救護看護師の養成、奉仕団・青少年赤十字の育成強化、救急法等講習会の開催などについても、その推進に努めております。

当支部の活動資金（社資）は、震災以降その影響により厳しい状況が続いておりますが、平成29年度は県内各地区・分区をはじめ、有功会、奉仕団等関係者のご努力とご支援により、目標額を上回る実績となりました。心から感謝申し上げます。従前の形で活動資金の募集ができない被災町村分区については、振込等を活用しながら募集のお願いを進めてまいりますので、皆様の一層のご理解とご協力をお願いいたします。

福島赤十字病院は、地域医療の中核として、さらには災害拠点病院や原子力災害拠点病院として、県民の健康と命を守るため、より質の高い医療の提供に積極的に取り組んでおり、平成31年1月の開院に向けた新病院の建設も順調に進んでおります。

福島県赤十字血液センターは、献血セミナーの開催など若年層への普及啓発や、400mL献血の推進に努め、医療のニーズに即した血液の確保と安定供給を図っているところです。

本年は、地域に甚大な被害をもたらした磐梯山噴火災害から130年目に当たります。この噴火災害に際し、日本赤十字社は初めて平時における災害救護活動に従事しました。平時災害救護活動の発祥の地となった当支部といたしましては、今後とも赤十字の理念である「人道」に基づき、復興支援や県民福祉の向上に貢献できる各種事業を推進してまいりますので、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成30年10月

日本赤十字社福島県支部

目 次

1 災害救護	1
1 災害救護	1
2 救護員の登録	1
3 救護訓練及び研修	3
4 災害弔慰金の贈呈	5
5 救援物資の配分	5
6 災害義援金（国内）受付状況	6
7 赤十字防災ボランティアの養成	6
8 救護資材	7
2 救護看護師の養成	10
1 奨学金貸与	10
2 日本赤十字秋田看護大学、福島県支部長特別推薦	10
3 救急法・健康生活支援講習等の普及	11
1 講習会の実施状況	11
2 講習会の開催（合計）	13
3 講習会受講者内訳	13
4 資格者養成講習会開催状況	14
5 児童・生徒のための救命手当（心肺蘇生を学ぶ教室）	17
6 防災セミナー	17
7 東日本大震災復興支援事業「赤十字救急法等講習会」	17
8 行事（救急法等）	21
9 会議・研修会	21
10 指導員資格継続適性審査	21
11 救急法・水上安全法・幼児安全法・健康生活支援講習指導員	22
12 救急法等講師名簿	24
4 赤十字奉仕団	25
1 結成状況	25
2 方部赤十字奉仕団連絡協議会	25
3 赤十字奉仕団指導講師	25
4 会議、研修会	25
5 協力	26
6 平成29年度地域奉仕団総会・研修会への職員・講師派遣状況	26
7 平成29年度赤十字奉仕団委員長会議	27
8 平成29年度赤十字ボランティアのつどい（第8回）	28
9 「17食博覧会・大阪」への参加	28
10 平成29年度青年赤十字奉仕団第1ブロック協議会統一キャンペーン	29
5 青少年赤十字（JRC）の育成	30
1 加盟学校数とメンバー数	30
2 青少年赤十字地区指導者協議会別加盟校数・メンバー数	30

3	青少年赤十字研究推進校の指定	32
4	平成29年度青少年赤十字福島県指導者協議会役員	32
5	平成29年度青少年赤十字各地区指導者協議会長校	32
6	会議、研修会	33
7	県内トレーニングセンターの開催	33
8	指導者研修会・講習会等の開催	34
9	福島県青少年赤十字賛助奉仕団	34
10	青少年赤十字指導者協議会総会・研修会・登録式等への職員・賛助奉仕団員派遣状況	35
11	青少年赤十字防災教育プログラムの普及	36
12	青少年赤十字 詩・100文字提案作品募集（第10回）	36
13	青少年赤十字国際交流事業	37

6 社会福祉活動 38

1	高齢者福祉対策事業	38
2	保健衛生事業	38
3	地域高齢者生活支援活動	39
4	東日本大震災復興支援事業「赤十字にここに健康教室」	39

7 国際活動 41

1	第一ブロック支部による国際活動への参加	41
2	救急法普及支援事業	41
3	救済金受付状況（福島県支部取扱分）	42
4	平成29年度「NHK海外たすけあいキャンペーン12月1日～25日」実績額および 前年度比較（福島県支部取扱分）	42
5	安否調査	42

8 広報・資料 43

1	日赤本社刊行物の配布	43
2	支部発行物の作成配布	43
3	ホームページの開設	44
4	新聞・テレビ・ラジオ広報	44
5	使用済切手運動等への協力	44
6	イベント参加による広報	44

9 東日本大震災復興支援事業 45

1	復興支援「赤十字にここに健康教室」の実施	45
2	復興支援「救急法等講習会」	45
3	地区・分区及び赤十字奉仕団による支援事業	46
4	赤十字スポーツ・レクリエーション	47
5	被災学校支援	47
6	「青少年赤十字 詩・100文字」作品募集	47
7	「青少年赤十字 防災教育プログラム」	48
8	国際交流事業「フィリピン青少年赤十字メンバー招致」	48
9	復興支援活動広報事業	48

10 医療事業	50
1 医療施設	50
2 診療科（24科）	50
3 病床数と職員数	50
4 患者数	50
5 紹介患者数	50
6 救急車両による搬入患者数	50
7 医療機器の整備（主なもの）	51
8 訪問看護ステーションの運営	51
9 各種教室及び相談	51
10 指定居宅支援事業所の運営	51
11 血液事業	52
1 施設	52
2 献血及び供給	52
3 献血の状況	52
4 血液製剤供給の状況	53
5 推進会議等の開催	53
6 献血思想の普及啓発・行事	54
7 骨髄ドナー登録者の受入状況	55
8 第53回献血運動推進全国大会における表彰	56
9 日本赤十字社有功章社員等贈与規則に基づく表彰	56
12 評議員会	57
13 業務監理執行及び会計の監査	57
14 赤十字社員増強運動	58
1 赤十字社員増強運動の推進と成果	58
2 表彰	61
3 優良地区・分区の表彰	65
4 社員管理の電算処理状況	65
5 地区有功会の結成状況	66
6 日本赤十字社福島県支部有功会連合会の会議等	66
7 組織振興課関係会議・研修会	67
15 会計報告	68
1 平成29年度一般会計歳入歳出決算報告	68
2 平成29年度医療施設特別会計歳入歳出決算報告	68
16 日本赤十字社福島県支部役員名簿	69
資料編	70
平成29年度日本赤十字社福島県支部現勢	70
組織機構	72

1

災害救護

救護活動は、赤十字の第一義的な活動であり、戦時・平時を問わず人道上の救護を目的としており、国際的にはジュネーブ諸条約や赤十字国際会議の決議に基づき、国内では日本赤十字社法及び同定款に基づき行われている。

また、災害救助法では国及び都道府県に対する救助への協力義務が規程され、さらに災害対策基本法並びに国民保護法により日本赤十字社は「指定公共機関」として位置づけられている。その具体的内容については「内閣府（防災担当）との協定」により取り決めがなされている。

これらを踏まえ、日本赤十字社は救護規則、防災業務計画等を定め、被災地における医療救護、救援物資の備蓄と配分、血液製剤の供給、義援金の受付と配分、その他災害救護に必要な業務等を行っている。

また、避難指示区域については、徐々に避難指示が解除されているが、住民の帰還は進んでいないため、復興支援事業を継続するとともに、福島県や日赤原子力災害情報センターと連携し、DMAT訓練や原子力災害研修に積極的に取り組んでいる。

さらに、平成27年3月、平成28年2月の「福島県と日本赤十字社との復興、防災対策等に関する共同宣言」に基づく協定により、福島県をはじめ、各防災関係機関と連携しながら、実効性のある救護体制の確立と充実・強化を図っている。

次なる災害に備えるため、職員及び防災ボランティア等を対象とした訓練や研修を充実させるとともに、支部や地区・分区の救護資機材等の整備を図り、県民への防災・減災意識の啓発に努めている。

1 災害救護

平成29年度は福島県内及び近県では新たな大きな災害がなかったため、特記する救援・救護活動はなかった。

ア 原子力災害拠点病院指定

（ア）平成29年4月1日、福島赤十字病院が原子力災害拠点病院に福島県より指定される。

2 救護員の登録

災害に備えて救護班8班を常備し、毎年度更新登録している。

ア 救護員の登録

（平成29年4月1日現在）

	医師	看護師長	看護師	主事	助産師	薬剤師	災対本部要員	血液供給要員	合計
日本赤十字社福島県支部				6			7		13
福島赤十字病院	36	20	86	61	4	16	6		229
福島県赤十字血液センター	1		1	5			10	38	55
合計	37	20	87	72	4	16	23	38	297

イ 平成29年度常備救護班編成表

	第1救護班	第2救護班	第3救護班	第4救護班
医 師	安藤 精一（病院）	郡司 崇志（病院）	藤森 春生（病院）	守谷 新（病院）
看護師長	齋藤 明子（病院）	菅野ひとみ（病院）	車田 真美（病院）	菅野いづみ（病院）
看 護 師	武田 里美（病院）	本田 賀絵（病院）	齋藤 幸恵（病院）	黒沢真由美（病院）
	田島 一樹（病院）	菅野 奏（病院）	菅野 勇勝（病院）	金内 杏美（病院）
主 事	野崎 謙司（病院）	國分 秀俊（病院）	金原 昭世（病院）	山名慎一郎（病院）
	金子 瑛（病院）	三浦 友輔（病院）	佐藤 由峰（病院）	幕田 高平（病院）

	第5救護班	第6救護班	第7救護班	第8救護班
医 師	佐藤 法義（病院）	出羽 明子（病院）	伊藤 史浩（病院）	三友 正紀（病院）
看護師長	小林 洋子（病院）	石田 久江（病院）	安達 明美（病院）	佐藤 利恵（病院）
看 護 師	武井 明美（病院）	鈴木 牧子（病院）	森田 直子（病院）	柳田 美穂（病院）
	友田 翔子（病院）	庄子 大志（病院）	高橋 健太（病院）	渡辺 義文（病院）
主 事	池田 久光（病院）	菅野 正幸（病院）	二階堂雄平（病院）	日色沙緒里（病院）
	釜田 雄一（病院）	三次 鏡太（病院）	加藤 仁義（病院）	島村 健翔（病院）

薬剤師	我妻 禎 二瓶 瑤子 大竹麻衣子	緑上 淳一 酒井 亮 小野優紀恵	川村 早苗 武藤 壮平	山脇 聡 菊池 洋平	佐藤 南 濱田 絵里	齋藤可奈子 古賀 彩織
-----	------------------------	------------------------	----------------	---------------	---------------	----------------

支部 連絡調整員	石田 政幸	久保 芳宏	松本 琢也	深谷 秀樹	出口 智美	石田 遊星
-------------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

こころのケア 指導者	武田 玲子（支部）	渡邊 知子（病院）	高根 晴美（病院）	國分 花子（病院）
	岩崎 睦子（支部）	菅野 直樹（病院）	武田 里美（病院）	

ウ 日本DMAT登録者

医 師	渡部 洋一（統括DMAT）	市川 剛	遠藤 豪一	渡部 研一	中村耕一郎
看 護 師	鈴木 佳子	奈良輪弘美	泉 弘子	原田 瑞穂	渡邊あゆみ
	萩原 暁美	梅宮 誠			鈴木 安英
業務調整員	渡部 寿康	齋藤 智浩	薄 大介	久保 芳宏	橋本 健一
	野地 幸次	葛岡 大輔			野田 誠

エ 福島県DMAT登録者

看 護 師	石田 久江	藤田 恵実	鈴木 直人	田島 一樹	武田 良平
業務調整員	松本 琢也	野崎 謙司			

オ 日赤災害医療コーディネートチーム

	氏 名	任 命 職
医 師	渡部 洋一	災害医療コーディネーター
医 師	遠藤 豪一	災害医療コーディネーター
看 護 師	渡邊 知子	コーディネートスタッフ
看 護 師	野地 啓子	コーディネートスタッフ
事務職員	久保 芳宏	コーディネートスタッフ
事務職員	野田 誠	コーディネートスタッフ

カ 福島県災害医療コーディネーター

（平成29年3月23日～平成31年3月22日）

渡部 洋一 久保 芳宏



3 救護訓練及び研修

ア 災害救護訓練

訓練名	期日	会場	参加者(人)
①福島県支部災害救護訓練	7月8日(土)	福島県支部	救護員61 大原病院12 済生会病院4

福島県支部管内施設職員を対象に、基礎的な知識と技術を訓練するために毎年開催している。医師や看護師長、看護師、主事の役割や、無線連絡法、トリアージ（START法、PAT法）救護所設営、傷病者受け入れ訓練を開催した。今年度初めて近隣の病院職員にも参加いただいた。



福島県支部災害救護訓練

②福島県総合防災訓練	8月27日(日)	福島市	支部4、病院6
------------	----------	-----	---------

災害対策基本法に基づき、地域の住民や県内各関係機関・各種団体が参加し福島県が開催している防災訓練に参加した。土砂災害から消防等によって救助した傷病者を他団体と一緒にトリアージし、適切な医療救護を実施する訓練を行った。



福島県総合防災訓練

③福島県支部奉仕団合同災害救護訓練	7月22日(土)・23日(日)	広野町	支部6、ボランティア65
④東北ブロックDMAT参集訓練	9月13日(土)・14日(日)	福島市	支部1(スタッフ)、病院4、センター1
⑤福島県原子力防災訓練	10月28日(土)	川俣町	支部3、病院6

平成23年3月の東日本大震災及び原発の事故では、住民や要配慮者・入院患者・施設入所者の緊急避難に困難を伴ったため、福島県原子力災害広域避難計画に則り、放射線量が高くなり避難する場合を想定した訓練に参加した。今回は震災後3回目、川俣町に医療中継拠点を設け、汚染エリアの設定や手順など検討しながらの訓練となった。当救護班は、傷病者の手当てを行ったが、スクリーニング前の傷病者を手当する場面もあり、防護服を着用しての救護訓練となった。



福島県原子力防災訓練

⑥福島県多数傷病者対応訓練	10月31日(火)	富岡町	病院6
---------------	-----------	-----	-----

双葉郡内では、いまだ避難が続く避難準備区域や帰宅困難区域があり、一時帰宅の住民や復旧作業員、除染作業員が大勢流入している。しかし医療資源が充足されていないため、重大事故等にDMATが派遣されることを想定した訓練が富岡町で行われ参加した。

⑦第1ブロック支部合同災害救護訓練	9月13日(水)・14日(木)	山形市	支部4、病院6
-------------------	-----------------	-----	---------

山形駅前の高層ビルを会場に、大地震を想定した訓練が行われた。

行政や消防、警察等関係機関と連携し、各支部の救護班が協働して多数のけが人の応急手当をするなど、実践的な訓練となった。



第1ブロック災害救護訓練

⑧福島赤十字病院院内災害訓練	平成30年 3月10日(土)	福島赤十字病院	病院81
----------------	-------------------	---------	------

福島が被災地となり、福島赤十字病院に多数傷病者が来院した場合を想定し、災対本部を立ち上げ、患者の安否確認を行い、トリアージと受け入れ・医療処置の訓練を開催した。



福島赤十字病院傷病者受け入れ訓練

イ 会議

名 称	期 日	会 場	参加者 (人)
①第1ブロック支部事業推進課長・講習担当者会議	6月20日(火)・21日(水)	岩手県	支部2
②福島市防災会議 国民保護協議会	6月27日(火)	福島市	支部1
③日赤第1回緊急被ばく医療アドバイザー会議	7月6日(木)・7日(金)	日赤本社	病院2
④救護・講習担当課長会議	7月12日(水)・13日(木)	日赤本社	支部1
⑤福島県緊急被ばく医療対策協議会	7月24日(月)	福島市	支部1、病院1
⑥福島県災害医療対策協議会	7月31日(月)	福島市	支部1、病院1
⑦福島県救急医療対策協議会	7月31日(月)	福島市	支部1
⑧原子力災害時医療連携推進協議会	9月11日(月)	東京都	病院1
⑨原子力災害医療対策協議会	9月25日(月)	福島市	支部1、病院1
⑩福島市防災会議	11月27日(月)	福島市	支部1
⑪日赤第2回緊急被ばく医療アドバイザー会議	12月18日(月)・19日(火)	日赤本社	病院2
⑫福島県災害応援協定ネットワーク会議	平成30年2月2日(金)	福島市	支部1
⑬福島県原子力災害時医療連携ネットワーク会議	3月14日(水)	福島市	支部1、病院2
⑭第2回原子力災害医療対策協議会	3月26日(月)	福島市	支部1、病院1
⑮福島県DPAT運営協議会	3月27日(火)	福島市	支部1、病院1
⑯福島県ドクターヘリ検討会	3月28日(水)	福島市	病院1

ウ 救護員研修

名 称	期 日	会 場	参加者 (人)
①日赤防災教育事業指導者養成研修	6月2日(金)～4日(日)	日赤本社	支部2
②日赤原子力災害対応基礎研修会	6月3日(土)・4日(日)	石巻赤十字病院	支部3、病院4、 スタッフ病院2
③第1回DMAT技能維持研修	7月16日(日)・17日(月)	福島市	支部1



名 称	期 日	会 場	参加者 (人)
④福島県広域災害救急医療・情報システム (EMIS) の活用による災害時対応研修に協力	7月20日(木)・21日(金) 25日(火)・26日(水)	福島市・南相馬市	支部1(スタッフ)
⑤原子力災害時医療中核人材研修	7月26日(水)～28日(金)	福島市	支部1、病院1
⑥第2回全国赤十字救護班研修会	8月5日(土)～7日(月)	石巻赤十字病院	支部2、病院1、 他スタッフ2
⑦日本災害医療ロジスティクス研修協力	8月24日(木)～26日(土)	岩手医科大学	支部1(スタッフ)
⑧福島県DMAT養成研修	10月14日(土)・15日(日)	福島市	病院4
⑨原子力災害時医療中核人材研修	11月8日(水)～10日(金)	弘前市	病院1
⑩原子力災害時の医療に係わる研修講師養成講座	11月18日(土)・19日(日)	福島市	病院1
⑪日赤福島県支部救護班主事研修会	11月18日(土)	福島県支部	病院8、血セ3、 支部1、他スタッフ9
⑫福島県CBRNE研修会	11月24日(金)～26日(日)	福島市	病院2
⑬日赤こころのケア指導者養成研修会	12月11日(月)～13日(水)	日赤本社	病院1
⑭福島県立総合衛生学院災害救護実習受入れ	12月12日(火)	福島県支部	支部3、病院2、 学生24
⑮福島県災害派遣福祉チーム員養成基礎研修会	12月15日(金)・16日(土)	福島市	病院1
⑯DMAT技能維持研修会	平成30年 1月13日(土)・14日(日)	仙台市	病院5、血セ1
⑰日赤福島県支部救護員のためのこころのケア研修会	2月3日(土)	福島赤十字病院	病院20、支部2、 血セ1、スタッフ7
⑱第4回全国赤十字救護班研修会協力	2月17日(土)～19日(月)	日赤本社	病院1(スタッフ)
⑲都道府県災害医療コーディネート研修協力	3月17日(土)・18日(日)	東京都立川市	支部1(スタッフ)

4 災害弔慰金の贈呈

火災並びに自然災害等による死亡者の遺族代表者に弔慰金10,000円を贈る。

	件 数	金 額
弔 慰 金	18件	180,000円

5 救援物資の配分

「支部災害救援物資取扱要綱」に基づき、以下のとおり配布した。

		前年度 繰 越	本社等 受 入	購 入	戻入等	被害者へ の配分	他支部へ の払出	転用等	本年度末 残 数
支 部	毛 布	0						0	0
	バ ス タ オ ル	2,699				302			2,397
本 社	毛 布	6,244	0			162	0		6,082
	緊 急 セ ッ ト	3,479	0			41	0		3,436
	安 眠 セ ッ ト	540							540
	タオルケット		100						100



毛布



緊急セット

6 災害義援金（国内）受付状況

（平成29年3月31日）

ア 東日本大震災義援金 ※（ ）内は累計

義 援 金 名	件 数	金 額
東日本大震災義援金（支部受付分）	49件（2,132件）	3,518,810円 （累計819,131,612円）

イ その他災害 ※（ ）内は累計

義 援 金 名	件 数	金 額
①平成28年熊本地震災害	43件（1,047件）	1,990,855円 （累計142,301,670円）
②平成28年新潟県糸魚川市大規模火災	8件（232件）	25,550円 （累計3,851,805円）
③平成29年7月5日からの大雨災害	151件	15,056,743円
④平成29年台風第18号災害	148件	555,933円
⑤平成29年台風第21号災害	150件	743,566円
⑥秋田県大雨災害	10件	239,774円

※この災害義援金は、被災地県に設置される災害義援金配分委員会を通じて被災者へ全額配分されます。

7 赤十字防災ボランティアの養成

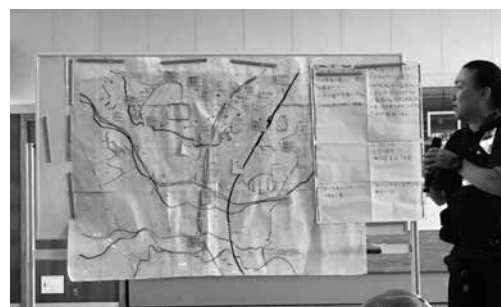
ア 福島県支部奉仕団合同災害救護訓練

防災支援奉仕団と地域奉仕団と共に災害時に活動できるよう「福島県支部奉仕団合同災害救護訓練」を県内持ち回りで、毎年開催している。

名 称	期 日	会 場	参加者（人）
福島県支部奉仕団合同災害救護訓練	7月22日（土） 23日（日）	広野町ニツ沼公園	支部6、ボランティア65 （防災支援奉51、地域奉7）

支部と防災支援奉仕団連絡協議会、広野町分区分が主催し、近隣の地域奉仕団員も参加し防災訓練を開催した。

アマ無線通信訓練や防災ボランティアの受付・派遣、搬送訓練、炊き出し訓練、心肺蘇生や傷の手当の仕方、D1G（災害図上訓練）も行った。



福島県支部奉仕団合同災害救護訓練

イ 防災ボランティアのためのこころのケア研修

期 日	会 場	参加者（人）
5月26日（金）	矢祭町山村開発センター	東白川方部赤十字奉仕団70
6月6日（火）	日赤福島県支部	市民2
7月13日（木）	会津坂下中央公民館	両沼方部赤十字奉仕団45
9月6日（水）	いわき市好間公民館	好間地区赤十字奉仕団12
12月4日（月）	白河市中央老人福祉センター	市民38
12月8日（金）	柳津町健康福祉プラザ銀山荘	柳津町赤十字奉仕団18
	計	185



ウ 登録者数

防災ボランティアリーダー 8名

防災ボランティア地区リーダー 152名

8 救護資材

ア 県支部保有の主な救護資材

(平成30年3月31日)

	支部	病院	地区区分
救 急 車	1台	2台	
医 師 派 遣 用 自 動 車	1台	1台	
第1ブロック支部現地災害対策本部車両	1台		
災 害 救 援 車	9台		182台
普 通 自 動 車	1台		
折りたたみ自転車	1台		
折りたたみリヤカー	1台		
超短波無線機(157MHZ)基地局	1局		
地 上 移 動 局	16局	4局	
超短波無線機(415MHZ)基地局	1局		
地 上 移 動 局	18局	9局	
アマチュア無線局	1局		
小電力トランシーバー	12台		
携帯電話・データ端末	8台		
衛星携帯電話	6台	5台	
〃 (可換型)	(3台)	(3台)	
〃 (車載)	(3台)	(2台)	
携帯コピー機	1台		
メガホン(拡声器)	7台		
携帯ラジオ	9台		
液晶テレビ	1台		
ヘッドランプ	30台		
災害救援車用ハンドビーム	2台		
ランタン(15W)	4台	6台	
ランタンスタンド	4台	1台	
投 光 機	12台		16個
移動発電機	14台		57台
インバーターコンセント	3台		
天 幕(3間×2間)	12張		6張
(1.5間×2間)	4張		241張
エアテント(4m×5m)	2張	1張	
(6m×6m)	2張		
ワンタッチテント(3m×6m)	5張		237張
ドラッシュテント(フレームテント)XB	1張		
ドラッシュテント(フレームテント)MX	1張		
浄 水 器	1台		
野外炊飯器・バーナーセット	5組		122組
移動式炊飯器	1組		198組

	支部	病院	地区区分
折りたたみ寝台	39台	40台	122台
担 架 ベ ッ ド	1台		
患 者 用 毛 布	50枚	50枚	
携 帯 ト イ レ	2個		
ト イ レ 用 テ ン ト	1張		
ス ト ー プ	5台		
救護所用冷暖房機器	3台		
救護員作業衣(新式 夏用)	20着	50着	
〃 (新式 冬用)	20着	50着	
ヘルメット	15個	25個	203個
反 射 チ ョ ッ キ	40着	20着	
救 命 胴 衣	6着		24着
雨 具	98着	25着	
耳 あ て	18個		
革 手 袋	20双		
防 寒 衣	16着		
防 寒 服(上・下)	30着		
ダ ウ ン ジャ ケ ッ ト	25着	20着	
防 寒 帽 子	12個		
編 上 靴	82足	55足	
半 長 靴	9足	11足	
救 護 員 シ ュ ー ズ	4足	13足	
防 寒 靴	30足		
防 じ ん ゴ ー グ ル	19個	6個	
防 毒 マ ス ク	10個		
水 筒(ベルト付)	10個		
寝 袋	25個		
キャンピングマット	24枚		
携 行 バ ッ グ	20個	40個	
携 行 キャ リ ー バ ッ グ	16個	24個	
個人携帯バッグ(ポーチ)	26個	24個	
防 災 ボ ラ ン テ ィ ア 雨 具	50着		
防災ボランティアベスト一式	150組		
救 護 資 材 倉 庫			181棟
ローラーコンベア(電動)	5台		
〃 (手動)	1台		
電 子 血 圧 計	1台		
医 療 セ ッ ト 置 台	3台		

	支部	病院	地区分区
医療セット		2組	
携帯用医療セット	1個		
携帯用救護カバン	2個	3個	
医療資器材携行用カバン	16個		
ノート型パソコン	2台	3個	
モバイルプリンター	1台		
プロジェクター	1台		
台車	1台	1台	
折りたたみいす	8台		
診察台	2台		
トリアージシート	1組	1組	
4折テーブル	4台		
担架	24台		79台
担架置台	5組		

	支部	病院	地区分区
点滴スタンド	10台		
毛布用台車	20台		
アコーディオンスクリーン	4台		
A E D ー 式	4台		
A E D (携帯型) ー 式	1台		104台
災害救援活動用ベスト			245着
D M A T 装 備 ー 式		1式	
NBC災害対応除染セッー式	1式		
防護服セット	58組		
デジタル個人線量計	38個	20個	
空間線量率測定用サーベイメータ		1台	
身体汚染スクリーング用GMサーベイメータ		1台	
ハンドリフト	2台		
パレット	25枚		

※AED（自動体外式除細動器）については、平成18年19年に配備したものは耐用年数となった為、削除した。今後は各地区分区の財源で整備することとした。

イ 災害救護装備の充実

災害救援物資の輸送等のため各地区・分区に120万円を上限に赤十字救援車購入の経費の一部を補助した。

◎災害救護装備

赤十字救援車配置 (助成)	6台	①福島市吉井田分区 ②猪苗代町分区 ③会津坂下町分区 ④三島町分区 ⑤下郷町分区 ⑥新地町分区
------------------	----	--

◎災害救護装備の整備

災害用無線機の更新	2台	基地局（スプリアス規格対応機器に更新）
赤十字救護員作業衣等の整備（支部）		
(1) 作業帽	25	
(2) 作業衣	79	夏服 男性（上10 ズボン11） 女性（上10 ズボン12） 冬服 男性（上10 ズボン10） 女性（上7 ズボン9）
(3) 職種ベスト	35	医師7 看護師10 薬剤師3 主事15



赤十字救援車（下郷町分区）



赤十字福祉車両（富岡町）

◎東日本大震災復興支援事業

海外救援金を財源とした東日本大震災復興支援事業として、福島県内の防災力を強化するため、地区・分区に配備した。

復興支援事業による災害用資機材の整備

被災地福祉車両	3台	①葛尾村分区 ②川内村分区 ③富岡町分区
災害救護倉庫	5棟	①福島市飯坂分区 ②郡山市喜久田分区 ③小野野分区 ④鮫川村分区 ⑤富岡町分区
倉庫用 赤十字ステッカー	16箇所	①福島市清水分区 ②福島市吾妻分区 ③伊達市梁川分区 ④伊達市霊山分区 ⑤二本松市地区 ⑥郡山市田村分区 ⑦田村市滝根分区 ⑧会津若松市地区 ⑨玉川村分区 ⑩磐梯町分区 ⑪猪苗代町分区 ⑫いわき市川前分区 ⑬いわき市小川分区 ⑭西会津分区 ⑮泉崎村分区 ⑯昭和村分区
移動炊飯釜	16台	①福島市信夫分区 ②郡山市田村分区 ③二本松市安達分区 ④白河市地区 ⑤喜多方市高郷分区 ⑥天栄村分区 ⑦いわき市田人分区 ⑧古殿町分区 ⑨浅川町分区 ⑩鮫川村分区×2 ⑪猪苗代町分区×2 ⑫県中地区 ⑬広野町分区 ⑭富岡町分区
ガスバーナーセット	5台	①二本松市地区 ②二本松市安達分区 ③天栄村分区 ④磐梯町分区 ⑤三島町分区
ワンタッチテント	33張+天幕1	①福島市地区×4 ②福島市杉妻分区 ③福島市清水分区 ④福島市西分区 ⑤福島市吉井田分区 ⑥福島市東部分区 ⑦福島市松川分区 ⑧福島市立子山分区 ⑨福島市吾妻分区×2 ⑩福島市信夫分区 ⑪福島市飯野分区 ⑫伊達市地区×1+天幕1 ⑬二本松市東和分区 ⑭郡山市三穂田分区 ⑮郡山市西田分区 ⑯郡山市片平分区 ⑰いわき市田人分区 ⑱川俣町分区 ⑲天栄村分区 ⑳県中地区 ㉑鮫川村分区 ㉒西郷村分区×3 ㉓会津坂下町分区 ㉔磐梯町分区 ㉕富岡町分区 ㉖檜枝岐村分区
テント用ベースプレート (おもり) 20kg	474個	①福島市地区×30 ②福島市杉妻分区×6 ③福島市清水分区×6 ④福島市西分区×6 ⑤福島市東部分区×14 ⑥福島市飯坂分区×24 ⑦福島市松川分区×18 ⑧福島市飯野分区×6 ⑨二本松市東和分区×24 ⑩郡山市地区×6 ⑪郡山市熱海分区×12 ⑫郡山市三穂田分区×12 ⑬郡山市西田分区×12 ⑭郡山市片平分区×24 ⑮郡山市中田分区×12 ⑯白河市地区×18 ⑰白河市表郷分区×6 ⑱川俣町分区×12 ⑲いわき市田人分区×6 ㉑いわき市三和分区×12 ㉒県中地区×10 ㉓桑折町分区×18 ㉔西郷村分区×18 ㉕天栄村分区×6 ㉖矢祭町分区×12 ㉗棚倉町分区×24 ㉘磐梯町分区×6 ㉙鮫川村分区×6 ㉚会津坂下町分区×12 ㉛猪苗代町分区×12 ㉜下郷町分区×24 ㉝昭和村分区×12 ㉞檜枝岐村分区×6 ㉟広野町分区×12 ㊱富岡町分区×12 ㊲浪江町分区×12 ㊳福島県支部×6
パイプテント (1.5間×2間)	6張	①福島市信夫分区×4 ②県中地区 ③富岡分区
発電機	2台	①富岡分区 ②浪江町分区
LED投光器+三脚	3台	①西郷村分区 ②福島県支部×2
トイレ用テント	1個	①富岡町分区
ヘルメット	12個	①いわき市常磐分区×6 ②福島県支部×6
自動体外式除細動器 (AED)	3台	①富岡町分区 ②福島市清水分区 ③いわき市小名浜分区
ホワイトボード	1枚	福島県支部
プロジェクター台(防 災セミナー用)	1台	福島県支部
アルミベンチ	10台	福島県支部
レインウェア(雨具)	9着	福島県支部

2

救護看護師の養成

国際的な救護活動、高齢社会への適切な対応ができる優れた看護師を養成するため、赤十字理念を建学の精神としている日本赤十字看護大学等で学び、赤十字に対し深い理解と熱意をもつ学生に奨学金を貸与し、救護看護師を養成している。

1 奨学金貸与

(人)					
学 校 名	1年	2年	3年	4年	計
日本赤十字秋田看護大学	4	4	2	4	14

※奨学金貸与額：年間60万円（月額5万円）を上限として貸与している。

2 日本赤十字秋田看護大学、福島県支部長特別推薦

日赤秋田看護大学に入学を希望し、福島赤十字病院に看護師として就職を希望する高校生を対象に選考会を行い、福島県支部長より推薦した。

支部長特別推薦選考会 10月25日（水）

ア 応募者 3人

イ 推薦者 3人

ウ 合格者 3人



日本赤十字秋田看護大学学生



日本赤十字秋田看護大学

3

救急法・健康生活支援講習等の普及

日本赤十字社では、赤十字の基本理念である「人道」、すなわち「人間の苦痛を予防軽減すること」に努力している。その目的はいのちと健康を守り、人間の尊厳を確保する。」という考えに基づいており、救急法等の講習会の普及に取り組んでいる。各講習会は、ボランティア指導員の協力を得て、日常生活での事故防止やけがの手当、高齢者の自立をめざした介護の方法などの知識と技術を普及している。

なお、救急員等認定証の有効期間が5年となり、延長が廃止されたが、既に認定証を所持している方の資格継続研修は、該当者に引き続き実施した。

また、東日本大震災復興支援事業として生活習慣病等の予防を呼びかけ、いざという時の救急法の知識技術を引き続き普及した。

救急法プログラムでは「児童・生徒のための救命手当短時間プログラム」を推進し、さらに防災に対する地域の関心も高まっていることから、各地で炊きだしや災害時救急法・災害時高齢者生活支援講習、災害時の乳幼児支援等の技術を学ぶ「防災教室」の普及をすすめている。

1 講習会の実施状況

ア 救 急 法

日常生活における事故防止の知識と、思わぬ事故や急病の人を医師や救急隊に引き継ぐまでの応急手当などの知識と技術を普及している。

心肺蘇生、AED（自動体外式除細動器）の使い方、気道異物除去の方法を学ぶ救急法基礎講習（4時間）を実施し、さらに修了者に、きずの手当、骨折の手当、搬送法を学ぶ救急員養成講習（12時間）を実施している。



救急法

講 習 種 別		実施回数（回）	受講者数（人）	修了者数（人）	養成者数（人）
救 急 法	基礎講習（4時間）	27	665	665	665
	救急員養成講習（12時間）	16	354	354	350
	資格継続研修（4時間）	3	62	62	—
	短期講習	207	8,522	—	—
	計	253	9,603	1,081	1,015

イ 水上安全法

水と親しみ水の事故から人命を守るため、泳ぎの基本と自己保全、水の事故防止、溺れた人の救助、救命手当などの知識と技術を普及している。救急法基礎講習（4時間）修了者を対象にプールで基本技術を学ぶ水上安全法救助員養成講習Ⅰ（14時間）を実施した。しかし自然海域での事故防止を目的とした海で実施する救助員養成講習Ⅱ（12時間）は、平成29年度も東日本大震災及び原発事故の影響により、実施できなかった。



クーラーボックスの浮力を経験する受講者

講習種別		実施回数（回）	受講者数（人）	修了者数（人）	養成者数（人）
水上安全法	救助員養成講習Ⅰ（14時間）	1	14	14	10
	救助員養成講習Ⅱ（12時間）	—	—	—	—
	資格継続研修（4時間）	1	25	25	—
	短期講習	13	599	—	—
	計	15	638	39	10

ウ 幼児安全法

幼児期に起こりやすい事故とその予防、万一事故が起きた場合の心肺蘇生法とAEDの使い方、気道異物除去など救命手当及び応急手当の仕方、かかりやすい病気と看病の仕方などの知識と技術を普及している。

短期講習「災害時の乳幼児支援」においては、バンダナ、レジ袋を使用したきずの手当てを行い好評である。

講習種別		実施回数（回）	受講者数（人）	修了者数（人）	養成者数（人）
幼児安全法	支援員養成講習（12時間）	1	14	14	12
	資格継続研修（4時間）	1	3	3	—
	短期講習	21	468	—	—
	計	23	485	17	12



幼児安全法



幼児安全法

エ 健康生活支援講習

誰もが迎える高齢期を、すこやかに迎えるために必要な健康増進の知識や、高齢者の支援、自立に向け役立つ介護技術を普及している。

超高齢社会に対応するよう、自分の健康づくりとボランティア活動に生かせるよう支援活動に重点をおいている。

短期講習は、「地域で支える認知症」や「リラクゼーション」の希望が多く、また、認知症キャラバン・メイトとなった健康生活支援講習指導員による「認知症サポーター養成講座」も平成29年1月から普及開始となった。福島市とは4月から毎月「認知症サポーター養成講座」を共同開催し、今後地域のボランティア活動につながることを期待される。

さらに東日本大震災復興支援事業「にこにこ健康教室」において災害時高齢者生活支援講習をひき続き実施した。



講習種別		実施回数(回)	受講者数(人)	修了者数(人)	養成者数(人)
健康生活支援講習	指導員養成 (30時間)	1	16	11	7
	支援員養成講習 (12時間)	8	153	149	149
	資格継続研修 (4時間)	2	26	26	26
	災害時高齢者生活支援講習 (2時間)	16	479	—	—
	認知症 (90分～2時間) (認知症サポーター養成講座)	5 (29)	151 (1,062)	—	—
	その他	25	1,208	—	—
計		86	3,095	186	182



健康生活支援講習ハンドケア

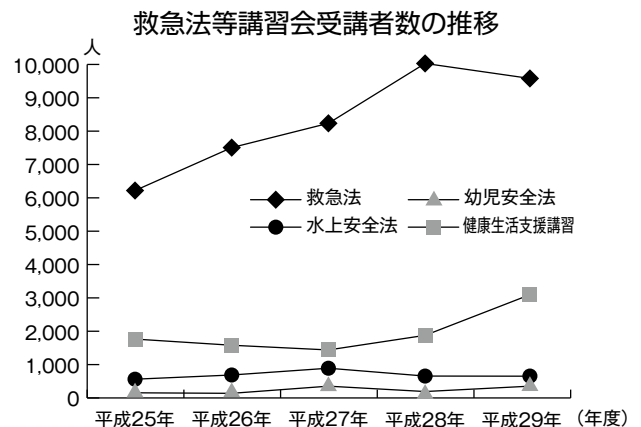
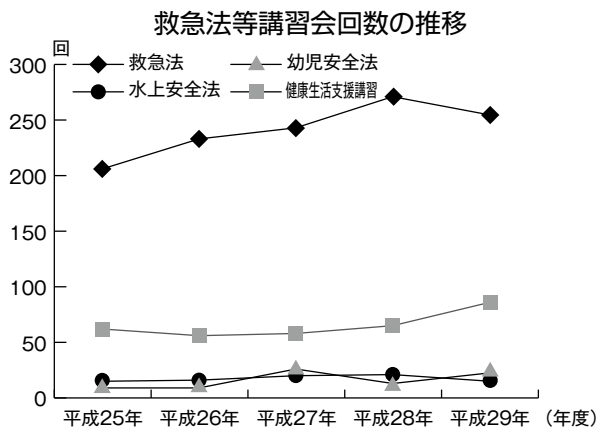


健康生活支援講習

2 講習会の開催 (合計)

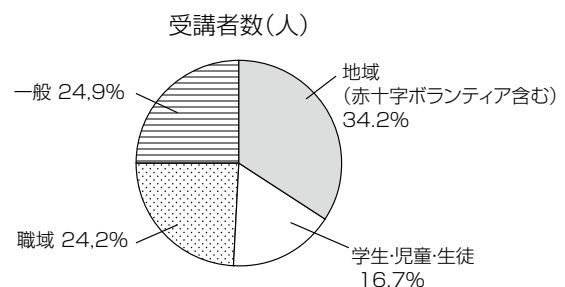
講習種別	実施回数(回)	受講者数(人)	修了者数(人)	養成者数(人)
救急法	253	9,603	1,081	1,015
水上安全法	15	599	39	10
幼児安全法	23	485	17	12
健康生活支援講習	86	3,095	186	182
計	377	13,821	1,323	1,219

※復興支援事業を含む。



3 講習会受講者内訳

	受講者数(人)
地域 (赤十字ボランティア含む)	4,723
学生・児童・生徒	2,312
職域	3,339
一般	3,447
計	13,821



4 資格者養成講習会開催状況

ア 救急法 基礎講習

番号	月 日	主 催	会 場	対 象	受講者数(人)	養成者数(人)
1	4/18	アポロメディカルホールディングス(株)	郡山市熱海町清稜山倶楽部	薬剤師(新入社員)	40	40
2	6/3	日本赤十字社福島県支部	日本赤十字社福島県支部	一般	23	23
3	6/27	日本赤十字社福島県支部	森合市民プール	一般	14	14
4	7/9	日本赤十字社福島県支部	会津若松市南公民館	一般	17	17
5	7/20	学校法人尚志学園 尚志高等学校	尚志高等学校	JRCメンバー	23	23
6	7/26	福島県立白河旭高等学校	白河旭高等学校	JRCメンバー	28	28
7	7/27	青少年赤十字県南地区高等学校 指導者協議会	日本赤十字社福島県支部	JRCメンバー	25	25
8	8/17	学校法人福島成蹊高等学校	福島成蹊高等学校	生徒	19	19
9	8/18	日本赤十字社福島県支部	日本赤十字社福島県支部	一般	29	29
10	8/21	福島県磐城第一高等学校	磐城第一高等学校	JRCメンバー	16	16
11	8/21	県北地区高等学校青少年赤十字 連絡協議会	日本赤十字社福島県支部	JRCメンバー	17	17
12	8/22	福島県警察本部教養課長	福島県警察学校	初任科短期課程学生	49	49
13	9/14	日赤郡山市地区	郡山市総合福祉センター	生活支援相談員	15	15
14	9/22	日本赤十字社福島県支部	福島赤十字病院	一般	29	29
15	10/2	福島県森林保全課	フォレストパークあだたら	森林ボランティアリーダー	10	10
16	10/14	学校法人 福寿会 福島医療専門学校	福島医療専門学校	学生	32	32
17	10/15	学校法人 福寿会 福島医療専門学校	福島医療専門学校	学生	17	17
18	10/19	日本赤十字社福島県支部	日赤福島県支部	一般	16	16
19	10/21	学校法人 福寿会 福島医療専門学校	福島医療専門学校	学生	33	33
20	11/10	日本赤十字社福島県支部	日赤福島県支部	一般	9	9
21	11/10	福島県スキー連盟	ホテルリステル猪苗代	スキーパトロール	12	12
22	12/7	公益社団法人 福島県森林・林業・緑化協会	フォレストパークあだたら	緑の雇用FW 1期研修生	37	37
23	12/11	(一社)福島県指定自動車教習所 協会	福島県青少年会館	自動車教習所指導員	36	36
24	12/12	福島県警察学校	福島県警察学校	初任科長期課程学生	55	55
25	12/25	東日本国際大附属昌平高等学校	昌平高等学校	JRCメンバー	23	23
26	1/12	公益財団法人 福島県森林・林業・緑化協会	ビッグパレットふくしま	林業関係者	11	11
27	3/3	日本赤十字社福島県支部	日赤福島県支部	一般	30	30
計	27回				665	665

イ 救急法 救急員養成講習

救急法基礎講習(4時間)を受講された方が救急員養成講習(12時間)を受講し、学科・実技の検定に合格された方に救急員認定証を交付した。

番号	月 日	主 催	会 場	対 象	受講者数(人)	養成者数(人)
1	6/10・11	日本赤十字社福島県支部	日本赤十字社福島県支部	一般	18	17
2	7/16・17	日本赤十字社福島県支部	日本赤十字社福島県支部	一般	8	8
3	8/19・20	日本赤十字社福島県支部	日本赤十字社福島県支部	一般	17	17



番号	月 日	主 催	会 場	対 象	受講者数(人)	養成者数(人)
4	8/21・22・23	県北地区高等学校青少年赤十字連絡協議会	日本赤十字社福島県支部	JRCメンバー	17	17
5	8/22・23	福島県磐城第一高等学校	福島県磐城第一高等学校	JRCメンバー	16	16
6	8/23・24・25	福島県警察本部 教養課長	福島県警察学校	初任課短期課程学生	48	48
7	9/28・29	日本赤十字社福島県支部	福島赤十字病院	一般	20	18
8	10/23・24	日本赤十字社福島県支部	郡山市総合福祉センター	一般	13	13
9	11/10・11・12	福島県スキー連盟	ホテルリステル猪苗代	スキーパトロール	12	11
10	11/11・12	学校法人 福寿会 福島医療専門学校	福島医療専門学校	専門学校生	17	17
11	11/16・17	日本赤十字社福島県支部	いわき市生涯学習センター	一般	3	3
12	11/25・12/9	学校法人 福寿会 福島医療専門学校	福島医療専門学校	専門学校生	33	33
13	11/26・12/10	学校法人 福寿会 福島医療専門学校	福島医療専門学校	専門学校生	31	31
14	12/13・14・15	福島県警察学校	福島県警察学校	初任課長期課程学生	55	55
15	12/25・26・27	東日本国際大附属昌平高等学校	東日本国際大附属昌平高等学校	JRCメンバー	23	23
16	3/10・11	日本赤十字社福島県支部	日本赤十字社福島県支部	一般	23	23
計	16回				354	350

ウ 水上安全法 救助員養成講習Ⅰ

番号	月 日	主 催	会 場	対 象	受講者数(人)	養成者数(人)
1	6/27・28・7/4・5	日赤福島県支部 日赤福島市地区	福島市 森合市民プール	一般	14	10

エ 幼児安全法 支援員養成講習

番号	月 日	主 催	会 場	対 象	受講者数(人)	養成者数(人)
1	9/7・14	日赤福島県支部 日赤福島市地区	日赤福島県支部	一般	14	12

オ 健康生活支援講習 支援員養成講習

番号	月 日	主 催	会 場	対 象	受講者数(人)	養成者数(人)
1	6/8・9	日赤福島県支部 日赤福島市地区 福島市	福島赤十字病院	一般	30	29
2	9/5・6	日赤福島県支部 日赤福島市地区 福島市	福島赤十字病院	一般	24	24
3	10/5・6	日赤福島県支部 日赤いわき市地区	いわき市労働福祉会館	一般	8	8
4	11/9・10	日赤福島県支部 日赤会津若松市地区	会津若松市 北公民館	一般	9	7
5	11/15・16	日赤福島県支部 日赤福島市地区 福島市	福島赤十字病院	一般	26	25
6	2/20・21	日赤福島県支部 日赤福島市地区	福島赤十字病院	一般	26	26
7	3/19・20	日赤福島県支部 日赤郡山市地区	郡山市総合福祉センター	一般	18	18
8	3/27・28	青少年赤十字 県北地区高等学校指導者	日赤福島県支部	県北地区高校	12	12
計	8回				153	149

カ 東日本大震災復興支援事業「認知症サポーター養成講座」

震災・原発事故から6年が経過し、避難者の世帯分離や独居老人が増え、少子化が一段と進み、人口の高齢化のスピードは予想を上回って進んでいる。そこで健康生活支援講習指導員が、認知症キャラバン・メイトとなり、積極的に「認知症サポーター養成講座」を開催している。

番号	月 日	主 催	会 場	受講者数(人)	養成者数(人)
1	4/24	広野町奉仕団	広野町老人福祉センター	30	30
2	5/17	白河赤十字奉仕団連絡協議会	白河市役所本庁舎正庁	57	57
3	5/18	日赤福島県支部 福島市	福島赤十字病院	30	30
4	6/5	湯野赤十字奉仕団	湯野市民センター	36	36
5	6/9	日赤福島県支部 福島市	福島赤十字病院	29	29
6	6/23	社会福祉法人北塩原村社会福祉協議会	北塩原村保健センター	35	35
7	7/4	福島市長寿福祉課	市民会館	90	90
8	7/4	福島市長寿福祉課	市民会館	90	90
9	7/5	国見町赤十字奉仕団	観月台文化センター	27	27
10	7/5	日赤福島県支部 福島市	福島赤十字病院	34	34
11	7/11	日赤福島県支部 福島赤十字病院	福島赤十字病院	25	25
12	8/7	日赤福島県支部 福島市	福島赤十字病院	31	31
13	8/10	青少年赤十字いわき相双地域 高等学校指導者協議会	いわき市立生涯学習プラザ	37	37
14	9/6	日赤福島県支部 福島市	福島赤十字病院	24	24
15	10/1	公益社団法人福島県鍼灸あん摩 マッサージ指圧師会	郡山市立中央公民館	26	26
16	10/3	日赤福島県支部 福島市	福島赤十字病院	28	28
17	10/6	日赤福島県支部 日赤いわき市地区	いわき市労働福祉会館	8	8
18	11/10	日赤福島県支部 日赤会津若松市地区	会津若松市北公民館	9	9
19	11/16	日赤福島県支部 福島市	福島赤十字病院	25	25
20	11/24	日赤湯川村分区	ユートピアゆかわ	43	43
21	12/1	日赤福島県支部 福島市	福島赤十字病院	34	34
22	1/18	日赤福島県支部 福島市	福島赤十字病院	22	22
23	1/17	福島市長寿福祉課	市民会館	90	90
24	1/17	福島市長寿福祉課	市民会館	90	90
25	2/21	日赤福島県支部 福島市	福島赤十字病院	26	26
26	3/15	日赤福島県支部 福島市	福島赤十字病院	31	31
27	3/20	日赤福島県支部 日赤郡山市地区	郡山市総合福祉センター	18	18
28	3/28	青少年赤十字県北地区高等学校指導者 日赤福島県支部	日赤福島県支部	13	13
29	3/29	古殿赤十字奉仕団	古殿町公民館	24	24
				1,062	1,062

5 児童・生徒のための救命手当（心肺蘇生を学ぶ教室）

対 象：青少年赤十字メンバー（小学生・中学生・高校生）

内 容：心肺蘇生、AEDの使用法を実際に人形で体験する講習会を実施。

短時間で心肺蘇生などの救命手当を学べるよう学校で開催した。

45分の短時間プログラムの場合には、心肺蘇生の手順と胸骨圧迫を全員が体験するが、人工呼吸やAEDの使用法は例示のみとすることなど、短時間で学べるよう工夫し開催した。

（再掲）

	開催数（回）	受講者（人）
小 学 校	18回	559人
中 学 校	9回	812人
高 等 学 校	9回	434人
合 計	36回	1,805人

6 防災セミナー

本社における「赤十字防災教育プログラム」の普及推進方針を受け、「防災セミナー」として地域防災に役立つ知識技術DIG（災害図上訓練）、災害エスノグラフィーなどを普及開始した。救急法等指導員や赤十字奉仕団等の協力により開催した。

開催数 33回 受講者 1,460人

平成29年度「防災セミナー」開催一覧

（再掲）

内容	主な対象	回数（回）	受講人数（人）
災害時の炊き出し 応急手当等 （一部救急法等講習会を含む）	小・中・高校生	9	453
	赤十字奉仕団員	3	90
	一般住民	12	447
DIG （災害図上訓練）	小・中・高校生	3	121
	赤十字奉仕団員	3	183
	一般住民	1	22
災害エスノグラフィー	赤十字奉仕団員	1	26
災害時の備え	小・中・高校生	1	118
計		33	1,460

7 東日本大震災復興支援事業「赤十字救急法等講習会」

長引く避難生活で、高齢者の生活不活発病や心身の疲れによる病気が心配されるため、要望により、主に仮設住宅入居者を対象に病気の予防や介護予防、健康増進を目的とした講習会を開催した。

さらに仮設住宅の集会所にはAED（自動体外式除細動器）が設置されたので、いざという時のためのAEDの使い方や一次救命処置のしかた等を学ぶ講習会を実施した。



3 救急法・健康生活支援講習等の普及

(再掲)

番号	実施日	場所 (市町村等)	会 場	対象者(受益者)	指導員と数	参加者数	日赤 スタッフ	奉仕団	現地 スタッフ	合計 (人)	備考(講習内容)	
1	4月10日(月)	三春町	自然観察ステーション	田村方部赤十字奉仕団	健康生活支援講習指導員	1	22		1	24	健康生活支援講習 短期講習(地域で支 える認知症)	
2	4月22日(土)	会津坂下町	八幡コミュニティセンター	会津坂下町赤十字奉仕団	健康生活支援講習指導員	1	24		1	26	健康生活支援講習 短期講習(地域で支 える認知症)	
3	4月25日(火)	小野町	小野町多目的研修集 会施設	小野町日赤奉仕団	健康生活支援講習指導員	1	25		1	27	健康生活支援講習 短期講習(リラクゼー ション)	
4	5月20日(土)	福島市	福島県立図書館3階 第一研修室	一般県民	救急法指導員	2	10	2		14	救急法講習会	
5	5月24日(水)	玉川村	玉川村保健センター	玉川村赤十字奉仕団	健康生活支援講習指導員	1	37		1	39	健康生活支援講習 短期講習(高齢者の 健康と安全)	
6	5月24日(水)	三春町	三春交流館まほら	三春町赤十字奉仕団	健康生活支援講習指導員	1	26		1	28	健康生活支援講習 短期講習(災害時高 齢者支援講習)	
7	5月27日(土)	福島市	福島県立図書館 3階第二研修室	一般県民	幼児安全法指導員	2	11	2	0	15	幼児安全法講習会	
8	6月4日(日)	本宮市	本宮市荒井恵向 応急仮設住宅	本宮市赤十字奉仕団	健康生活支援講習指導員	1	25		19	1	46	健康生活支援講習 短期講習(にこにこ 健康教室)
9	6月8日(木)	福島市	福島赤十字病院 5階大講堂	一般市民	健康生活支援講習指導員	2	30	1		0	33	健康生活支援講習 支援員養成講習
	6月9日(金)	福島市	福島赤十字病院 5階大講堂	一般市民	健康生活支援講習指導員	2	29	1		0	32	健康生活支援講習 支援員養成講習+認 知症サポーター養成 講座
10	6月14日(水)	郡山市	郡山市総合福祉センター	郡山市有功会員赤十字奉 仕団	健康生活支援講習指導員	1	20		1	22	健康生活支援講習 短期講習(認知症と その予防について)	
11	6月25日(日)	いわき市	四倉公民館	四倉地区市民	救急法指導員(職員)	1	20	1	5	2	29	防災イベント
12	6月26日(月)	いわき市	いわき市文化センター	いわき有功会 いわき市内の奉仕団	健康生活支援講習指導員 (職員)	1	50		1	52	健康生活支援講習	
13	6月26日(月)	喜多方市	喜多方市総合福祉センター	喜多方市内赤十字奉仕団員		26	1		1	28	災害エスノグラフィー	
14	6月30日(金)	福島市	日赤福島県支部	石川町奉仕団	健康生活支援講習指導員 (職員)	1	13		1	15	健康生活支援講習 短期講習(リラクゼー ション)	
15	7月6日(木)	二本松市	道の駅「さくらの郷」	二本松岩代赤十字奉仕団 一般の方	健康生活支援講習指導員	1	35		1	37	健康生活支援講習 短期講習(リラクゼー ション)	
16	7月6日(木)	福島市	日赤福島県支部	支援員資格継続対象者	健康生活支援講習指導員	1	12			12	健康生活支援講習 支援員資格継続研修	
17	7月7日(金)	福島市	下野寺公会堂	地域住民	健康生活支援講習指導員 (職員)	1	24		1	26	健康生活支援講習 短期講習支援技術 (車椅子)	
18	7月10日(月)	白河市	JALしらかわ 多目的ホール	表郷赤十字奉仕団 一般市民	健康生活支援講習指導員	1	22		1	24	健康生活支援講習 短期講習(地域で支 える認知症)	
19	7月10日(月)	須賀川市	須賀川市役所	須賀川赤十字奉仕団 鏡石赤十字奉仕団	健康生活支援講習指導員 (職員)	1	60		1	62	健康生活支援講習	
20	7月24日(月)	須賀川市	須賀川市立大森小学校	小学生		34	1	6	1	42	防災セミナー(災害時 の備え、炊き出し)	
21	7月26日(水)	広野町	広野町社会福祉協議会	中高生	救急法指導員(職員)	1	10	3	2	16	防災セミナー(炊き出 し、災害時の救急法)	
22	7月26日(水)	郡山市	三松会館	県中地区賛助奉仕団員	救急法指導員(職員)	1	20			21	救急法講習(心肺蘇 生とAED講習)	
23	7月27日(木)	白河市	白河市立表郷小学校	小中学生・保護者・教師	救急法指導員	1	45	2	2	5	55	防災セミナー(救急 法、炊き出し)
24	8月1日(火)	いわき市	一般社団法人 くすのキッズ	児童	救急法指導員(職員)	2	83		2	87	防災セミナー(きず の手当)	
25	8月2日(水)	会津坂下町	福島県会津自然の家	青少年赤十字教職員	健康生活支援講習指導員	1	87		1	89	健康生活支援講習 短期講習(リラク ゼーション)	
26	8月2日(水)	須賀川市	須賀川市立小塩江小学校	児童		28	2	6		36	防災セミナー(災害 の備え、非常食作り)	
27	8月3日(水)	国見町	国見小学校	小学生	救急法・水上安全法指導員	3	68			71	キッズ防災	
28	8月8日(火)	いわき市	福島県 いわき海浜自然の家	福島県内の教職員	健康生活支援講習指導員	1	62			63	健康生活支援講習 短期講習(リラク ゼーション)	
29	8月8日(火)	国見町	観月台文化センター	国見町赤十字奉仕団員		32	1		3	36	防災セミナー (DIG)	
30	8月9日(水)	会津若松市	会津高等学校	JRCメンバー、教師	救急法指導員(職員)	2	12		1	3	18	防災セミナー(救急 法、非常食作り、 DIG)
31	8月17日(木)	相馬市	新田防災集会所	小学生	救急法指導員(職員)	1	12		1	14	防災セミナー(きず の手当、搬送)	
32	8月18日(金)	福島市	吉井田学習センター	小学生・保護者		17	1	4	5	27	防災セミナー (DIG、非常食作り)	
33	8月21日(月)	福島市	福島市保健福祉センター	福島市職員	健康生活支援講習指導員 (職員)	1	17		1	19	災害時高齢者生活支 援講習	
34	8月23日(水)	福島市	福島市保健福祉センター	福島市職員	健康生活支援講習指導員 (職員)	1	19		2	22	災害時高齢者生活支 援講習	



番号	実施日	場所 (市町村等)	会 場	対象者(受益者)	指導員と数	参加者数	日赤 スタッフ	奉仕団	現地 スタッフ	合計 (人)	備考(講習内容)
35	8月31日(木)	須賀川市	東公民館	須賀川市赤十字奉仕団		40	1		1	42	防災セミナー(災害の備え)
36	9月1日(金)	喜多方市	山都保健センター	山都赤十字奉仕団 地域住民	健康生活支援講習指導員 1	28			1	30	健康生活支援講習 短期講習(高齢者の健康と安全のために)
37	9月5日(火)	大玉村	大玉村大山公民館	大玉村赤十字奉仕団 一般市民	健康生活支援講習指導員 1	19		10	1	31	健康生活支援講習 短期講習 にこにこ健康教室
38	9月5日(火)	福島市	福島赤十字病院 5階大講堂	一般市民	健康生活支援講習指導員(職員) 2	24	1			27	健康生活支援講習 支援員養成講習
	9月6日(水)	福島市	福島赤十字病院 5階大講堂	一般市民	健康生活支援講習指導員(職員) 2	24	1			27	健康生活支援講習 支援員養成講習+認知症サポーター養成講座
39	9月8日(金)	福島市	日赤福島県支部	一般県民	健康生活支援講習講師 2	18	2		0	22	健康生活支援講習 指導員養成講習 事前説明会
	9月9日(土)	福島市	日赤福島県支部	一般県民	健康生活支援講習講師 2	18	2		0	22	健康生活支援講習 指導員養成講習 研修会
40	9月10日(日)	国見町	小坂農村総合管理センター	住民	救急法指導員 5	83	1			89	災害時の救急法
41	9月10日(日)	国見町	大木戸ふれあいセンター	住民	救急法指導員 5	48	1			54	災害時の救急法
42	9月12日(火)	いわき市	いわき市立江名中学校	中学生・教師	救急法指導員(職員) 3	62	1	5		71	防災セミナー(非常食作り、救急法)
43	9月13日(水)	いわき市	いわき市立江名中学校	中学生・教師		62	4	5		71	防災セミナー (HUG)
44	9月14日(木)	郡山市	郡山市総合福祉センター 3階技能習得室	郡山市社会福祉協議会 生活支援相談員	救急法指導員(職員) 1	15				16	基礎講習
45	9月15日(木)	相馬市	相馬市立中村第一中学校	中学生		140	2	1		143	防災セミナー(災害時の炊き出し)
46	9月19日(火)	福島市	日赤福島県支部	一般市民	健康生活支援講習指導員(職員) 1	5				6	災害時高齢者生活支援講習
47	9月19日(火)	福島市	日赤福島県支部	一般市民	健康生活支援講習指導員(職員) 1	9				10	健康生活支援講習 短期講習(リラクゼーション)
48	10月5日(木)	いわき市	いわき市労働福祉会館	一般市民	健康生活支援講習指導員 1	8				9	健康生活支援講習 支援員養成講習
	10月6日(金)	いわき市	いわき市労働福祉会館	一般市民	健康生活支援講習指導員 1	8				9	健康生活支援講習 支援員養成講習+認知症サポーター養成講座
49	10月13日(金)	郡山市	郡山市中央公民館	郡山赤十字奉仕団	健康生活支援講習指導員 1	16				17	健康生活支援講習 短期講習(高齢者の健康と安全のために)
50	10月14日(土)	郡山市	郡山市立田村公民館	郡山市田村町赤十字奉仕団	健康生活支援講習指導員 1	38				39	健康生活支援講習 短期講習(転倒予防について)
51	10月12日(木)	福島市	日赤福島県支部	健康生活支援講習指導員 養成講習受講者	健康生活支援講習講師 2	14	2			18	健康生活支援講習 指導員養成講習
	10月13日(金)	福島市	日赤福島県支部	健康生活支援講習指導員 養成講習受講者	健康生活支援講習講師 2	14	2			18	健康生活支援講習 指導員養成講習
	10月14日(土)	福島市	日赤福島県支部	健康生活支援講習指導員 養成講習受講者	健康生活支援講習講師 2	16	2			20	健康生活支援講習 指導員養成講習
52	10月14日(土)	田村市	船引公民館	赤十字奉仕団	救急法指導員 1	8				9	防災セミナー(災害時の救急法)
53	10月17日(火)	矢祭町	矢祭町山村開発センター	東白川方部赤十字奉仕団	健康生活支援講習指導員(職員) 1	81				82	健康生活支援講習 短期講習(リラクゼーション)
54	10月22日(日)	伊達市	伊達ふれあいセンター	伊達赤十字奉仕団地域住民	健康生活支援講習指導員(職員) 1	26				27	健康生活支援講習 短期講習(リラクゼーション)
55	10月22日(日)	須賀川市	東公民館	親子カンガルークラブ関係者		17	1	4		22	防災セミナー(非常食づくり、災害への備え)
56	10月24日(火)	相馬市	相馬市保健センター	乳幼児を持つ親	幼児安全法指導員 2	28				30	幼児安全法
57	10月27日(金)	福島市	市民会館 502号室	福島地区バイラー技士会	救急法指導員 1	18				19	防災セミナー(災害時の救急法)
58	10月28日(土) ~10月29日(日)	南相馬市	ジャズモール	一般県民	救急法等指導員 22	135				157	防災フェア2017
59	11月3日(金・祝)	会津若松市	会津若松市中央公民館 神指分館	一般市民	救急法指導員 1	37		3	1	42	救急法(心肺蘇生とAED講習)
60	11月8日(水)	いわき市	いわき市立磐崎公民館	常磐方部赤十字奉仕団 地域住民	健康生活支援講習指導員(職員) 1	27				28	健康生活支援講習 短期講習(高齢者の健康と安全のために)
61	11月8日(水)	南相馬市	南相馬市馬場公会堂	原町赤十字奉仕団	健康生活支援講習指導員(職員) 1	49	1	12		63	健康生活支援講習 短期講習(にこにこ健康教室、リラクゼーション)
62	11月9日(木)	会津若松市	会津若松市北公民館	一般県民	健康生活支援講習指導員(職員) 1	7	1			9	健康生活支援講習 支援員養成講習
	11月10日(金)	会津若松市	会津若松市北公民館	一般県民	健康生活支援講習指導員(職員) 1	9	1			11	健康生活支援講習 支援員養成講習+認知症サポーター養成講座



3 救急法・健康生活支援講習等の普及

番号	実施日	場所 (市町村等)	会 場	対象者(受益者)	指導員と数	参加者数	日赤 スタッフ	奉仕団	現地 スタッフ	合計 (人)	備考(講習内容)
63	11月10日(金)	福島市	日赤福島県支部	健康生活支援講習指導員 養成講習受講者	健康生活支援講習講師 (職員)	2	9	2		13	健康生活支援講習 指導員養成講習
	11月11日(土)	福島市	日赤福島県支部	健康生活支援講習指導員 養成講習受講者	健康生活支援講習講師 (職員)	2	9	2		13	健康生活支援講習 指導員養成講習
64	11月11日(土)	田村市都路町	都路保健センター	赤十字奉仕団員		12	1		2	15	防災セミナー(災害 時の炊き出し)
65	11月14日(火)	鏡石町	鏡石町・さかい集会所	地域住民	健康生活支援講習指導員 (職員)	1	21		15	37	健康生活支援講習 短期講習(にこにこ 健康教室)
66	11月15日(水)	会津若松市	会津若松市城西コ ミュニティセンター	奉仕団員、一般市民	救急法指導員	1	41		1	43	救急法講習(心肺蘇 生とAED講習)
67	11月15日(水)	福島市	福島赤十字病院	一般市民	健康生活支援講習指導員 (職員)	2	26			28	健康生活支援講習 養成講習
	11月16日(木)	福島市	福島赤十字病院	一般市民	健康生活支援講習指導員 (職員)	2	25			27	健康生活支援講習 養成講習+認知症サ ポーター養成講座
68	11月18日(土)	船引町	船引公民館ホール	船引町赤十字奉仕団	健康生活支援講習指導員 (職員)	1	28			29	健康生活支援講習 短期講習(リラクゼー ション)
69	11月19日(日)	田村市大越町	田村市社協大越支所	赤十字奉仕団員		19	1		3	23	防災セミナー(災害 時の炊き出し)
70	11月21日(火)	喜多方市	喜多方市プラザ文化 センター	喜多方市食生活改善推進 委員会	健康生活支援講習指導員 (職員)	1	84			85	健康生活支援講習 短期講習(生活習慣 病について)
71	11月29日(水)	郡山市	郡山女子大学学生会館	郡山女子短期大学部家政 科福祉情報専攻学生	健康生活支援講習指導員 (職員)	1	41			42	健康生活支援講習 短期講習(災害時高 齢者生活支援講習)
72	12月5日(火)	二本松市岩代	岩代保健センター	一般市民		60	1			61	防災セミナー (HUG)
73	12月6日(水)	会津若松市	田季野	奉仕団員、市民、大熊町民	救急法指導員	3	32			35	災害時の救急法
74	12月10日(日)	福島市	町庭坂内町集会所	市民	救急法指導員(職員)	1	14			15	防災セミナー
平成30年											
75	1月11日(木)	福島市	日赤福島県支部	健康生活支援講習 新任指導者	健康生活支援講習講師(職 員)	2	5	2		9	健康生活支援講習指 導員新任者研修
	1月12日(金)	福島市	日赤福島県支部	健康生活支援講習 新任指導者	健康生活支援講習講師(職 員)	2	5	2		9	健康生活支援講習指 導員新任者研修
76	1月13日(土)	福島市	日赤福島県支部	県民	救急法指導員	1	22	6		29	防災セミナー(非常 食作り、DIG、災害 時の救急法)
77	1月24日(水)	須賀川市	須賀川市保健センター	須賀川市健康づくり推進員		48	1	6		55	防災セミナー(非常 食、災害への備え)
78	2月8日(木)	福島市	福島市信陵学習センター	女性学級 「信陵スマイルレディース」 「信陵梨花レディース」	健康生活支援講習指導員 (職員)	1	22			23	健康生活支援講習 短期講習(リラク ゼーション)
79	2月18日(日)	伊達市	月舘町中央交流館	月舘町赤十字奉仕団	健康生活支援講習指導員 (職員)	1	63			64	健康生活支援講習 短期講習(地域で支 える認知症)
80	2月20日(火)	福島市	福島赤十字病院	一般市民	健康生活支援講習指導員 (職員)	2	26			28	健康生活支援講習 養成講習
	2月21日(水)	福島市	福島赤十字病院	一般市民	健康生活支援講習指導員 (職員)	2	26			28	健康生活支援講習 養成講習+認知症サ ポーター養成講座
81	3月4日(日)	三春町	福島県環境創造センター	県民	救急法指導員	7	18	2		27	救急法短期講習
82	3月5日(月)	福島市	日赤福島県支部	支援員資格継続対象者	健康生活支援講習指導員 (職員)	1	14			15	健康生活支援講習 支援員資格継続研修
83	3月6日(火)	二本松市東和	東和文化センター	安達方部赤十字奉仕団連 絡協議会員		40	1		1	42	防災セミナー
84	3月6日(火)	棚倉町	棚倉町保健福祉センター	地域住民	健康生活支援講習指導員	1	33			34	災害時高齢者生活 支援講習
85	3月9日(金)	喜多方市	山都保健センター	山都赤十字奉仕団地域住民	健康生活支援講習指導員	2	38			40	健康生活支援講習 短期講習(高齢者に 起こりやすい事故の 予防と手当て)
86	3月10日(土)	南相馬市	原町区福祉会館	地域住民	健康生活支援講習指導員 (職員)	1	250	1	8	260	健康生活支援講習 短期講習(リラクゼー ション)
87	3月14日(水)	玉川村	就業改善センター	赤十字奉仕団員		29	3			32	災害時の炊き出し
88	3月19日(月)	郡山市	郡山市総合福祉センター	一般市民	健康生活支援講習指導員	2	18	1		21	健康生活支援講習 養成講習
	3月20日(火)	郡山市	郡山市総合福祉センター	一般市民	健康生活支援講習指導員	2	18	1		21	健康生活支援講習 養成講習+認知症サ ポーター養成講座
89	3月27日(火)	福島市	日赤福島県支部	県北地区高校JRCメンバー	健康生活支援講習指導員 (職員)	1	12			13	健康生活支援講習 養成講習
	3月28日(水)	福島市	日赤福島県支部	県北地区高校JRCメンバー	健康生活支援講習指導員 (職員)	1	13			14	健康生活支援講習 養成講習+認知症サ ポーター養成講座
90	3月29日(木)	古殿町	古殿町公民館	古殿町赤十字奉仕団	健康生活支援講習指導員	1	24			25	健康生活支援講習 短期講習(認知症サ ポーター養成講座)
合 計						154	3,419	68	51	61	3,752



8 行事（救急法等）

健康まつり等協力

名 称	期 日	場 所	参加者
①にこにこ祭り	5月5日（金・祝）	福島市	指導員11、参加者78
②復興支援 キッズ防災教室	8月3日（木）	国見町	指導員3、参加者（児童）80
③スポーツ・健康フェスタ	8月6日（日）	郡山市	指導員10、参加者215
④夏休み防災キャンプ	8月18日（金）	福島市	指導員1、参加者71
⑤復興支援 フロンティア祭	9月10日（日）	矢吹町	指導員6、参加者144
⑥義経祭り	9月23日（土）	国見町	指導員4、参加者
⑦福島市健康フェスタ	9月24日（日）	福島市	指導員11、参加者58
⑧こどもの祭典	10月8日（日）	須賀川市	指導員7、参加者62
⑨防災フェア2017	10月28日（土）・29日（日）	南相馬市	指導員22、参加者135
⑩放射線教育・防災教育フォーラム	11月15日（水）	三春町	指導員3、参加者（児童生徒）31
⑪福島県環境創造シンポジウム	平成30年3月4日（日）	三春町	指導員7、参加者18
⑫南相馬市ボランティアフェスティバル	3月10日（土）	南相馬市	指導員1、スタッフ1、参加者250

9 会議・研修会

研 修 会 名	期 日	場 所	参加者（人）
①健康生活支援講習指導員養成講習事前説明会・事前研修会	9月8日（金）・9日（土）	日赤福島県支部	講師2、支部1
②救急法講師養成講習	9月26日（月）～28日（金）	日赤本社	支部1
③赤十字講習担当者研修会	10月16日（月）・17日（火）	日赤本社	支部1
④認知症キャラバンメイト養成研修会	10月3日（火）	郡山市	健康生活指導員3
	10月28日（土）	郡山市	健康生活指導員1
⑤健康生活支援講習新任指導員研修会	平成30年1月11日（木）・12日（金）	日赤福島県支部	講師2、支部1、新任指導員
⑥健康生活支援講習講師研修会	1月23日（火）・24日（水）	日赤本社	講師2
⑦幼児安全法講師研修会	1月24日（水）・25日（木）	日赤本社	講師1
⑧救急法講師研修会	1月30日（火）・31日（水）	東京都血液センター	講師3
⑨水上安全法講師研修会	2月20日（火）・21日（水）	日赤本社	講師1
⑩救急法等指導員研修会（全体会）（実技研修会いずれか1日）	2月24日（土）、25日（日）、3月2日（金）、8日（日）	日赤福島県支部	指導員
⑪健康生活支援講習指導員研修会	3月23日（金）	福島市	指導員20

10 指導員資格継続適性審査

日本赤十字社救急法等講習規則施行細則に基づき、資格取得後の年数により指導員を対象に指導員資格継続適正審査を3年毎に行っている。3回目、6回目は学科と実技の審査を含む。

指導員種別 \ 審査回数	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目	合計
救急法（人）	13		1		2	6	22
水上安全法（人）			1		1	2	4
幼児安全法（人）					11	4	15
健康生活支援講習（人）						4	4
合 計	13		2		14	16	45

11 救急法・水上安全法・幼児安全法・健康生活支援講習指導員

(平成30年3月31日現在)

	氏 名	住 所		指 導 員 資 格	
1	今 野 金 哉	福島市		水上安全法	
2	鈴 木 祐 子	福島市		幼児安全法	健康生活支援講習
3	荒 木 淳 子	福島市	救急法	幼児安全法	健康生活支援講習
4	佐 藤 力 夫	福島市	救急法	幼児安全法	
5	根 本 良 一	福島市	救急法		
6	武 藤 士 津 夫	福島市	救急法		
7	山 上 照 雄	福島市	救急法		
8	五十嵐 賢 治	福島市	救急法		
9	長谷川 和 美	福島市	救急法		
10	佐 藤 ふじ子	福島市	救急法		
11	丹 治 美 晶	福島市	救急法	水上安全法	幼児安全法
12	渡 邊 春 雄	福島市	救急法		幼児安全法
13	渡 辺 千 春	福島市	救急法		幼児安全法
14	土 屋 浩 志	福島市	救急法	水上安全法	
15	大河内 弘 樹	福島市	救急法	水上安全法	
16	阿 部 貴 一	福島市		水上安全法	
17	大 浪 政 輝	福島市	救急法		幼児安全法
18	古 山 博 文	福島市		水上安全法	
19	渡 邊 圭	福島市	救急法		
20	鈴 木 克 成	福島市	救急法		
21	菅 野 友 幸	福島市		水上安全法	
22	遠 藤 愛	福島市	救急法		
23	古 川 盛 也	福島市	救急法		
24	浅 野 清 史	福島市	救急法		幼児安全法
25	増 井 將 次	福島市	救急法		
26	芳 賀 亮 一	福島市	救急法	水上安全法	
27	高 橋 博 司	福島市	救急法		
28	根 本 誠 司	福島市	救急法		
29	村 上 洋	福島市	救急法		
30	佐久間 恵美子	福島市	救急法		
31	佐々木 マサミ	福島市	救急法		
32	工 藤 友 子	福島市	救急法		
33	平 野 敏 行	福島市	救急法		
34	甚 野 絵 美	福島市	救急法		
35	清 野 貴 裕	福島市	救急法		
36	村 山 健	福島市	救急法		
37	渡 辺 久 子	福島市	救急法		
38	阿 部 孝 子	福島市			健康生活支援講習
39	茂 木 幸 子	福島市			健康生活支援講習
40	梅 宮 光 雄	伊達市	救急法		
41	石 澤 芳 二 三	伊達市	救急法		
42	山 田 徳 子	伊達市	救急法		健康生活支援講習
43	丹 治 進	伊達市	救急法		
44	横 山 まゆみ	桑折町	救急法		
45	本 田 巖	桑折町	救急法		幼児安全法
46	石 幡 茜	桑折町			幼児安全法
47	吉 澤 理 則	川俣町		水上安全法	
48	正 木 勝 博	二本松市	救急法		幼児安全法
49	高 橋 良 一	二本松市	救急法		
50	遊 佐 洋 子	二本松市			健康生活支援講習
51	日下部 慎 哉	田村市	救急法		
52	穴 戸 克 彦	小野町		水上安全法	
53	安 藤 富 夫	三春町	救急法		幼児安全法
54	金 子 久仁子	三春町	救急法		健康生活支援講習



	氏 名	住 所	指 導 員 資 格	
55	平 栗 辰 也	郡山市	救急法	幼児安全法 健康生活支援講習
56	平 栗 裕 子	郡山市	救急法	幼児安全法 健康生活支援講習
57	吉 田 紀 子	郡山市	救急法	幼児安全法
58	藤 原 健 一	郡山市	救急法	
59	玉 城 幸 夫	郡山市	救急法	
60	三 瓶 光 子	郡山市	救急法	
61	高 橋 洋 子	郡山市	救急法	
62	高 坂 明 子	郡山市	救急法	
63	洙 田 孝	郡山市	救急法	
64	葛 西 梅太郎	須賀川市	救急法	幼児安全法 健康生活支援講習
65	斎 須 泰 子	須賀川市	救急法	幼児安全法
66	水 野 榮	須賀川市	救急法	
67	柳 田 政 弘	矢吹町	救急法	幼児安全法
68	宇佐見 洋 子	石川町	救急法	幼児安全法
69	小 室 修 一	中島村		水上安全法
70	小 林 恵 子	棚倉町	救急法	幼児安全法
71	小 野 覚 久	白河市	救急法	
72	中 川 達 也	白河市	救急法	幼児安全法
73	柴 原 隆 夫	白河市	救急法	
74	松 山 弘 幸	白河市	救急法	
75	斎 藤 喜代雄	会津若松市	救急法	幼児安全法
76	石 田 美喜子	会津若松市	救急法	水上安全法 幼児安全法
77	増 子 昌 臣	会津若松市		水上安全法
78	押 田 剛	会津若松市		水上安全法
79	庄 司 緑	会津若松市	救急法	水上安全法
80	松 本 識	会津若松市	救急法	幼児安全法
81	日下部 孝 治	会津若松市	救急法	
82	後 藤 守 江	会津若松市	救急法	幼児安全法
83	栗 城 美 保	会津若松市	救急法	
84	伊 藤 万利子	会津若松市	救急法	幼児安全法 健康生活支援講習
85	目 黒 新	会津若松市	救急法	
86	渡 部 淳 子	会津若松市	救急法	健康生活支援講習
87	成 田 正 彦	猪苗代町	救急法	
88	佐 野 幸 三	湯川村	救急法	幼児安全法
89	鶴 見 常 夫	会津坂下町	救急法	
90	健 藤 洋 悦	相馬市	救急法	
91	横 山 恵久子	相馬市	救急法	
92	志 賀 さくら	須賀川市	救急法	
93	鈴 木 薫	いわき市		水上安全法
94	田 村 徹	いわき市	救急法	
95	後 藤 ツネ子	いわき市	救急法	
96	石 田 享 子	いわき市	救急法	
97	丹 野 香須美	いわき市	救急法	
98	新 妻 靖 巳	いわき市	救急法	
99	石 河 智	いわき市	救急法	
100	青 木 由紀子	いわき市	救急法	
101	山 田 裕 也	いわき市	救急法	
102	斎 藤 和 枝	血液センター	救急法	
103	森 戸 茂	血液センター	救急法	幼児安全法
104	小 林 俊 之	血液センター	救急法	
105	葛 岡 大 輔	血液センター	救急法	幼児安全法
106	二階堂 雄 斗	血液センター	救急法	
107	渡 辺 知 子	福島赤十字病院		幼児安全法 健康生活支援講習
108	富 田 仁 子	福島赤十字病院		幼児安全法 健康生活支援講習
109	野 地 啓 子	福島赤十字病院		健康生活支援講習
110	森 谷 浩 子	福島赤十字病院		健康生活支援講習

+ 3 救急法・健康生活支援講習等の普及

	氏 名	住 所	指 導 員 資 格			
101	渡 辺 久 子	福島赤十字病院	救急法			
112	小 林 洋 子	福島赤十字病院				健康生活支援講習
113	車 田 真 美	福島赤十字病院	救急法		幼児安全法	健康生活支援講習(講師)
114	佐 藤 明 美	福島赤十字病院				健康生活支援講習
115	野 田 康 代	福島赤十字病院				健康生活支援講習
116	吉 田 和 恵	福島赤十字病院				健康生活支援講習
117	渡 邊 由美子	福島赤十字病院				健康生活支援講習
118	奈良輪 弘 美	福島赤十字病院				健康生活支援講習
119	三 浦 愛	福島赤十字病院				健康生活支援講習
120	渡 邊 厚 子	福島赤十字病院				健康生活支援講習
121	菊 田 基 晴	福島赤十字病院	救急法		幼児安全法	
122	武 田 良 平	福島赤十字病院	救急法			
123	野 地 幸 次	福島赤十字病院	救急法			
124	國 分 秀 俊	福島赤十字病院	救急法			
125	野 崎 謙 司	福島赤十字病院	救急法	水上安全法		
126	富 田 夕 紀	福島赤十字病院	救急法			
127	日 色 沙緒里	福島赤十字病院	救急法			
128	加 藤 妃 子	福島赤十字病院			幼児安全法	
129	穴 戸 絵 美	福島赤十字病院	救急法			
130	島 村 健 翔	福島赤十字病院	救急法			
131	武 田 玲 子	日赤福島県支部	救急法(講師)		幼児安全法(講師)	健康生活支援講習(講師)
132	石 田 政 幸	日赤福島県支部	救急法(講師)			
133	久 保 芳 宏	日赤福島県支部	救急法(講師)	水上安全法(講師)	幼児安全法	
134	岩 崎 睦 子	日赤福島県支部				健康生活支援講習
135	松 本 琢 也	日赤福島県支部	救急法		幼児安全法	
136	深 谷 秀 樹	日赤福島県支部	救急法			
137	土 屋 悦 男	日赤福島県支部	救急法			
138	湯 田 浩 成	日赤福島県支部	救急法			
139	石 田 遊 星	日赤福島県支部	救急法			
140	出 口 智 美	日赤福島県支部	救急法			
141	佐 藤 敦 子	日赤福島県支部	救急法			
合 計			111	17	37	27

12 救急法等講師名簿

各講習会の指導員を養成する指導員養成講習の指導者となる。

(平成30年3月31日現在)

講 習 会	氏 名		
救 急 法	武田 玲子	久保 芳宏	石田 政幸
水 上 安 全 法	久保 芳宏		
幼 児 安 全 法	武田 玲子		
健康生活支援講習	武田 玲子	車田 真美	

4 赤十字奉仕団

赤十字奉仕団は、明るく住みよい地域社会を築きあげていくために結成された地域奉仕団、青年や学生の若い力を社会のために役立てようと結成された青年奉仕団、特技を活かして社会に奉仕する特殊奉仕団が、共通の理念にたってそれぞれの持ち味を活かした奉仕活動を実践している。

1 結成状況

(平成30年3月31日現在)

奉仕団種別	団 数	構 成		
		男 (名)	女 (名)	計 (名)
地域赤十字奉仕団	107	565	8,321	8,886
青年赤十字奉仕団	5	106	96	202
特殊赤十字奉仕団	34	944	241	1,185
計	146	1,615	8,658	10,273



地域赤十字奉仕団

2 方部赤十字奉仕団連絡協議会

方部名	平成29年度 方部会長奉仕団名	方部名	平成29年度 方部会長奉仕団名	方部名	平成29年度 方部会長奉仕団名
福島	福島市飯野	須賀川・岩瀬	須賀川市	両沼	会津坂下町
伊達	国見町	白河市	白河市	南会津	南会津町南郷
安達	二本松市東和	西白河	泉崎村	いわき	いわき市遠野
郡山	郡山市田村町	東白川	矢祭町	相馬	休止
田村	三春町	会津若松	会津若松市	双葉	休止（暫定原町）
田村市	船引	北会津	猪苗代町	県賛助奉仕団	県北賛助
石川	玉川村	喜多方	喜多方市	県防災支援連協	広野町アマ無線

3 赤十字奉仕団指導講師（6名 平成30年3月31日現在）

福島市	藤田 伸 朔	南相馬市	鈴木 進 一
須賀川市	川 田 昌 利	会津若松市	栗 城 美 保
郡山市	安 田 悠 子	いわき市	飯 間 香保子
アドバイザー（1名）郡山市 今 泉 春 雄			

4 会議、研修会

会 議 名	場 所	期 日
①赤十字奉仕団担当者会議	日赤本社	5月8日(月)・9日(火)
②奉仕団委員長会議	郡山市	5月15日(月)・16日(火)
③第1ブロック青年赤十字奉仕団連絡協議会	北海道	5月27日(土)・28日(日)
④奉仕団中央委員会	日赤本社	6月1日(木)・2日(金)

会 議 名	場 所	期 日
⑤赤十字ボランティア・リーダー研修会	国立オリンピック記念センター	8月26日(土)～28日(月)
⑥青年赤十字奉仕団第1ブロック協議会 統一キャンペーン(被災者支援活動)	会津若松市	8月28日(火)・29日(水) 9月7日(木)・8日(金)
⑦赤十字奉仕団第1ブロック支部委員長・担当者会議	福島市	9月19日(火)・20日(水)
⑨奉仕団支部委員懇談会	福島市	平成30年3月6日(火)
⑨方部赤十字奉仕団連絡協議会長会議	福島市	3月6日(火)

5 協 力

赤十字新聞発送作業協力(県北賛助奉仕団、日赤福島ボランティア会)

6 平成29年度地域奉仕団総会・研修会への職員・講師派遣状況

ア 単位団

番号	開催日	奉仕団名	総会	総会後の研修(講話実習)	研修会	会 場	内 容	参加人数(概数)	派遣職員	派遣講師
1	4月15日(土)	柳津町			○	柳津町健康福祉プラザ銀山荘	「地域における赤十字奉仕団の活動について」	35		佐原和佳子
2	4月17日(月)	保原町	○			保原中央交流館	支部長挨拶		岸波庄一課長	
3	4月25日(金)	伊達		○		伊達福祉センター	献血について		血液センター 齋藤年光推進課長	
4	4月26日(水)	須賀川市	○		○	須賀川市東公民館	支部長挨拶 「赤十字の願いーふだんのくらしの幸せをー」		篠木敏明事務局長 湯田浩成主事	川田昌利
5	5月10日(水)	日赤福島ボランティア会	○			ザ・セレクトン福島	支部長挨拶		篠木敏明事務局長	
6	5月11日(木)	小高	○			小高保健福祉センター	支部長挨拶		高野浩二統括参事	
7	5月17日(水)	国見町	○	○		国見町観月台文化センター	支部長挨拶 「日赤福島県支部の取り組みについて」		高野浩二統括参事	
8	5月23日(火)	会津若松市	○			ルネッサンス中の島	支部長挨拶		岸波庄一課長	
9	5月26日(金)	会津若松市赤十字 防災ボランティア	○			稽古堂	支部長挨拶		岸波庄一課長	
10	6月5日(月)	湯野	○	○		湯野市民センター	支部長挨拶 健康生活支援講習		武田玲子課長	
11	6月6日(火)	喜多方市	○	○		喜多方市総合福祉センター	支部長挨拶 「赤十字奉仕団を支える奉仕団活動について考える」		篠木敏明事務局長	藤田伸朔
12	6月28日(水)	飯坂	○	○		飯坂支所	支部長挨拶 「高齢社会と生きがいについて」	50	篠木敏明事務局長	
13	7月21日(金)	相馬市			○	相馬市総合福祉センターはまなす館	傾聴ボランティア活動	38		安田悠子
14	9月14日(木)	天栄村	設立総会	○		老人福祉センター	支部長挨拶 赤十字奉仕団について		高野浩二統括参事 久保芳宏参事	
15	10月29日(日)	天栄村			○	天栄村体育館	ハイゼックス炊飯		岸波庄一課長	
16	3月3日(土)	大玉村	○			大玉村農村環境改善センター	支部長挨拶	28	篠木敏明事務局長	
17	3月11日(日)	本宮市白沢	○			本宮市白沢公民館	支部長挨拶		岸波庄一課長	
18	3月26日(月)	本宮市	○	○		えぽか	支部長挨拶 「日赤福島県支部の活動状況」		篠木敏明事務局長	
19	3月29日(木)	二本松市東和	○			二本松市東和文化センター	支部長挨拶		篠木敏明事務局長	

イ 方部連絡協議会総会・研修会

番号	開催日	奉仕団名	総会	総会後の研修 (講話実習)	研修会	会 場	内 容	参加人数 (概数)	派遣職員	派遣講師
1	4月21日(金)	伊達方部	○	○		国見親月台文化センター	支部長挨拶 赤十字奉仕団と災害救護活動		久保芳宏参事	
2	4月26日(水)	いわき方部	○	○		いわき市文化センター	救急法	50		丹野香須美
3	5月17日(水)	白河方部	○	○		白河市役所	認知症サポーター養成講座	57		平栗裕子
4	5月18日(木)	安達方部	○			二本松市東文化センター	支部長挨拶		高野浩二統括参事	
5	5月26日(金)	東白川方部	○	○		矢祭町山村開発センター	心のケア	69	武田玲子事業推進課長	
6	6月14日(水)	福島方部	○	○		支部	支部長挨拶 地域包括ケア	31	篠木敏明事務局局長ほか	
7	6月26日(月)	喜多方方部	○	○		喜多方市総合福祉センター	支部長挨拶 「災害エスノグラフィー」		石田政幸参事	
8	7月13日(木)	両沼方部	○	○		会津坂下町中央公民館	支部長挨拶 防災ボランティアのための心のケア	45	岩崎睦子参事	
9	11月6日(月)	南会津方部			○	南会津町伊南保健センター	赤十字と奉仕団活動			栗城美保

ウ 特殊・学生奉仕団総会・研修会

番号	開催日	奉仕団名	総会	総会後の研修 (講話実習)	研修会	会 場	内 容	参加人数 (概数)	派遣職員	派遣講師
1	5月9日(火)	県北地区賛助奉仕団	○			ホテル福島グリーンパレス	支部あいさつ	28	篠木敏明事務局局長	
2	4月22日(土)	会津地区賛助奉仕団	○	○		ルネサンス中の島	支部あいさつ		高野浩二統括参事	
3	4月28日(金)	県中地区賛助奉仕団	○			郡山市立金透小学校	支部あいさつ	22	高野浩二統括参事	
4	5月10日(水)	県南地区賛助奉仕団	○			白河市表郷庁舎	支部あいさつ		高野浩二統括参事	
5	5月23日(火)	県賛助奉仕団	○	○		日赤県支部	支部あいさつ		篠木敏明事務局局長ほか	
6	8月30日(水)	県立医科大学			○	日赤県支部	炊出し訓練、救急法	9	久保芳宏参事	

7 平成29年度赤十字奉仕団委員長会議

- ア 開催日時** 平成29年5月15日(月)～16日(火)
イ 開催場所 ホテル華の湯
ウ 参 加 者 赤十字奉仕団委員長または事務局 93人
赤十字奉仕団指導講師 7人
日赤福島県支部 6人

エ 議 題

- (ア) 平成28年度事業報告、29年度事業計画について
(イ) 平成28年度社資実績額、29年度社資目標額について
(ウ) 平成28年度、29年度の復興支援事業について
(エ) 平成29年度いのちと健康を守る講習会について
(オ) 県内の献血状況について



災害図上訓練を体験

オ 研 修

- (ア) グループ討議「私の団がかかえる課題とその解決策について」
- (イ) 体験「赤十字防災セミナー」～災害図上訓練～

8 平成29年度赤十字ボランティアのつどい（第8回）

- ア 開催日** 平成29年10月27日（金）、13時15分～15時30分
- イ 開催場所** ビッグパレットふくしま
- ウ 参加者** 650名
 出席受章者177名（受章件数279）、うち代表者21（2団・19名）
 来賓3名（本社パートナーシップ推進部長、赤十字奉仕団福島県支部委員長、
 日赤県支部有功会連合会長）
 一般参加者446名（奉仕団319名、有功会78名、地区・分区49名）
 奉仕団活動事例発表者1名
 講師 1名
 奉仕団指導講師ほか22名

エ 表 彰

- (ア) 業務功労
- | | | |
|------------|-------|------|
| 奉仕団員等奉仕者功労 | 金色有功章 | 74名 |
| | 銀色有功章 | 205名 |
| 奉仕団功労 | 社長感謝状 | 2団 |

オ 奉仕団活動事例発表

喜多方市赤十字奉仕団委員長

- カ 講演** 演題 「天達流 天気予報で安全安心」
 講師 気象予報士
 天達 武史 氏



奉仕者功労表彰



講演する天達武史氏

9 「'17食博覧会・大阪」への参加

日本赤十字社大阪府支部が出展する標記イベントで、東日本大震災被災3県（岩手・宮城・福島）の赤十字ボランティアと支部職員が郷土料理を意識した災害食の炊き出しを実施し、当支部からは、職員1名と四倉方部赤十字奉仕団員3名を派遣、同奉仕団考案の災害時炊出しレシピ「ジャガ餅鍋」を調理、200食を来場者に提供したほか、ステージで震災時の活動について紹介した。

期日 5月2日（火）～4日（木） 場所 インテックス大阪

10 平成29年度青年赤十字奉仕団第1ブロック協議会統一キャンペーン**ア 被災地での被災者支援活動**

期 日	8月28日(月)～29日(火)	9月7日(木)～8日(金)
場 所	会津若松市一箕町長原仮設住宅 集会場	会津若松市文化センター
参加者	北海道・秋田・山形・宮城・福島の青年赤十字奉仕団員15名(福島県参加者 県立医大2名・日大工学部2名・福島学院大1名)	北海道・岩手・秋田・宮城・福島の青年赤十字奉仕団員16名(福島県参加者 福島青年3名・日大工学部2名)
内 容	喜多方市赤十字奉仕団が実施する大熊町民への支援活動に参加(歌・レクリエーションほか)	会津若松市赤十字防災ボランティアが実施する大熊町民への支援活動に参加(郷土料理調理ほか)

イ 東日本大震災義援金募集活動

日 時	3月11日(日) 10:00～15:00
場 所	JR福島駅東口駅前広場
参加者	青年赤十字奉仕団員11名(福島青年6名 日大工学部2名 福島学院大3名) 福島成蹊高校JRCメンバー・顧問ほか14名 支部職員1名
募金額	207,119円



メッセージカードをプレゼントする青年奉仕団



東日本大震災募金活動



「17食博覧会・大阪」に参加しました

5

青少年赤十字(JRC)の育成

青少年のときから赤十字精神を養い、「健康・安全」、「奉仕」、「国際理解・親善」の実践活動を通して、社会に貢献できる人間を目指し、小・中・高校に組織され、学校教育の一環としてすすめている。〔JRC：Junior Red Cross〕

1 加盟学校数とメンバー数（平成29年9月1日現在）

幼稚園	12園	853名
小学校	447校	85,580名
中学校	223校	48,352名
高等学校	40校	4,174名
特別支援学校	3校	267名
計	725校	139,226名



幼稚園の登録式

2 青少年赤十字地区指導者協議会別加盟校数・メンバー数

【幼稚園】

地区名	園数	学級グループ数	男	女	計	指導者数
福島	6	13	113	119	232	18
伊達	1	7	78	60	138	12
郡山	1	8	115	101	216	11
岩瀬	1	2	23	20	43	2
田村	1	1	4	3	7	1
西白河	1	9	101	85	186	9
相馬	1	2	19	12	31	2
計	12	42	453	400	853	55

【小学校】

地区名	学校数	学級グループ数	男	女	計	指導者数
福島	57	643	7,265	6,762	14,027	664
伊達	21	203	1,744	1,791	3,535	206
安達	25	221	2,171	2,055	4,226	223
郡山	59	729	8,279	7,824	16,103	767
岩瀬	22	227	2,495	2,412	4,907	232
石川	11	101	1,012	972	1,984	104
田村	23	192	1,526	1,460	2,986	202
西白河	28	266	2,640	2,523	5,163	262
東白川	11	100	832	809	1,641	100
会津若松・北会津	27	298	2,955	2,745	5,700	285
耶麻	20	157	1,366	1,252	2,618	156
両沼	14	103	995	938	1,933	109
南会津	14	93	564	505	1,069	96
相馬	30	256	2,349	2,195	4,544	256
双葉	17	54	165	162	327	70
いわき	68	699	7,599	7,218	14,817	701
計	447	4,342	43,957	41,623	85,580	4,433

【中学校】

地 区 名	学校数	学級グループ数	男	女	計	指導者数
福 島	24	285	4,091	3,863	7,954	420
伊 達	8	86	1,107	1,094	2,201	123
安 達	11	98	1,378	1,269	2,647	180
郡 山	29	349	4,348	4,325	8,673	471
岩 瀬	13	116	1,437	1,370	2,807	178
石 川	6	47	586	538	1,124	77
田 村	10	79	899	823	1,722	134
西 白 河	14	132	1,688	1,567	3,255	213
東 白 川	4	36	433	423	856	60
会津若松・北会津	16	140	2,020	1,904	3,924	245
耶 麻	10	67	741	709	1,450	109
両 沼	10	63	587	545	1,132	98
南 会 津	7	30	332	280	612	63
相 馬	12	105	957	978	1,935	158
双 葉	11	30	112	103	215	71
い わ き	38	367	3,997	3,848	7,845	541
計	223	2,030	24,713	23,639	48,352	3,141

【高等学校】

地 区 名	学校数	学級グループ数	男	女	計	指導者数
県 北 地 区	10	53	74	158	232	19
県 南 地 区	16	214	2,033	1,656	3,689	84
会 津 地 区	6	68	59	41	100	13
いわき・相双地区	8	39	59	94	153	15
計	40	374	2,225	1,949	4,174	131

【特別支援教育諸学校】

地 区 名	学校数	学級グループ数	男	女	計	指導者数
県 北 地 区	1	12	50	20	70	27
県 南 地 区	1	34	128	62	190	75
会 津 地 区	0	0	0	0	0	0
いわき・相双地区	1	1	3	4	7	4
計	3	47	181	86	267	106

【学校別】

	学校数	学 級 グループ数	男	女	計	指導者数	県内の状況(29年度)				※1全国加盟率(28年度)	
							学校加盟率 (%)	児童生徒加入率 (%)	※2 全学校数 (校)	※2 全児童生徒数 (人)	学校加盟率 (%)	児童生徒加入率 (%)
幼 稚 園	12	42	453	400	853	55						
小 学 校	447	4,342	43,957	41,623	85,580	4,433	98.5	93.1	454	91,886	33.6	29.3
中 学 校	223	2,030	24,713	23,639	48,352	3,141	97.0	94.0	230	51,460	32.2	28.1
高等 学 校	40	374	2,225	1,949	4,174	131	36.0	8.0	111	52,148	37.2	8.0
特別支援学校	3	47	181	86	267	106	12.0	11.8	25	2,271	12.9	8.7
計	725	6,835	71,529	67,697	139,226	7,866	88.4	70.4	820	197,765	33.1	23.5

※1 日本赤十字社青少年赤十字ボランティア課 資料から抜粋

※2 福島県企画調整部統計調査課編「平成28年度学校基本調査速報」から抜粋

3 青少年赤十字研究推進校の指定

青少年赤十字活動の振興を目的に、加盟校の中から研究推進校を指定し、2年間に亘り研究推進に取り組み、指導者研修会と学校公開で成果を発表します。

◎平成28～29年度

白河市立信夫第一小学校、大信中学校

◎平成29～30年度

西会津町立西会津小学校・西会津中学校

◎平成29年度青少年赤十字福島県指導者研修会・学校公開の開催

信夫第一小学校研究主題：「思いやりの心をもち、進んで学び合う子どもの育成」

大信中学校研究主題：「気づき、考え、実行する生徒の育成」

副主題：「総合、特別活動」を柱とした実践を通して

期日：平成29年10月6日（金） 場所：白河市立信夫第一小学校、白河市立大信中学校



学校公開

4 平成29年度青少年赤十字福島県指導者協議会役員

役職名	氏 名	学 校 名
会 長	齋藤 吉成	福島市立福島第一小学校
副 会 長	星 信男	喜多方市立高郷中学校
副 会 長	齋藤 雅敏	棚倉町立山岡小学校
副 会 長	富樫 実	福島県立勿来工業高等学校
監 事	池上 雅	伊達市立富成小学校
監 事	中潟 宏昭	富岡町立富岡第一中学校
監 事	山内 正之	福島県立会津高等学校

5 平成29年度青少年赤十字各地区指導者協議会長校

地区名	氏 名	学 校 名	郵便番号	学 校 所 在 地	学校電話
福 島	齋藤 吉成	福島市立福島第一小学校	960-8065	福島市杉妻町1-24	024-523-1366
伊 達	池上 雅	伊達市立富成小学校	960-0682	伊達市保原町富沢字羽山5-3	024-576-3012
安 達	菅野 敏彦	二本松市立大平小学校	964-0958	二本松市竹ノ内22-1	0243-22-0754
郡 山	渡邊 謙一	郡山市立薫小学校	963-8861	郡山市鶴見垣二丁目19-7	024-932-5307
小中事務局校	芳賀 伸介	郡山市立富田西小学校	963-8041	郡山市富田町大字大十内85-5	024-961-8581
岩 瀬	高橋 正男	須賀川市立大東小学校	962-0721	須賀川市雨田字芳ヶ平72	0248-79-3131
石 川	菅家 章一	玉川村立玉川第一小学校	963-6312	石川郡玉川村大字小高字中村前50	0247-57-2019
田 村	松崎 健一	小野町立浮金小学校	963-3524	田村郡小野町大字浮金字林内177	0247-73-2746
西 白 河	神永 睦子	白河市立表郷小学校	961-0416	白河市表郷金山字瀬戸原108	0248-32-2220
東 白 川	齋藤 雅敏	棚倉町立山岡小学校	963-5662	東白川郡棚倉町大字岡田字上ノ内92	0247-33-3010
北 会 津	服部 秀夫	猪苗代町立緑小学校	969-2271	耶麻郡猪苗代町大字中小松字狐川原甲1566-1	0242-66-2208
耶 麻	星 信男	喜多方市立高郷中学校	969-4301	喜多方市高郷町上郷字中平94	0241-44-2162
両 沼	渡部 学	三島町立三島小学校	969-7511	大沼郡三島町大字宮下字建堀1846	0241-52-2442
南 会 津	大西 恒夫	南会津町立荒海小学校	967-0013	南会津郡南会津町関本字大道上495	0241-66-2109
相 馬	吉内 次夫	相馬市立日立木小学校	979-2522	相馬市日下石字神明前14	0244-35-2906
双 葉	中潟 宏昭	富岡町立富岡第一中学校	963-7704	田村郡三春町大字熊耳字南原94	0247-62-7800

地区名	氏 名	学 校 名	郵便番号	学 校 所 在 地	学校電話
い わ き	松本 光司	いわき市立菊田小学校	974-8241	いわき市山田町林崎前46	0246-62-2915
県 高 校	富樫 実	福島県立勿来工業高等学校	974-8261	いわき市植田町堂ノ作10	0246-63-5135
県 北	菅野 誠	福島県立福島高等学校	960-8002	福島市森合町5-72	024-535-2391
県 南	倉又 晴男	学校法人尚志学園尚志高等学校	963-0201	郡山市大槻町字垣ノ腰2	024-951-3500
会 津	山内 正之	福島県立会津高等学校	965-0831	会津若松市表町3-1	0242-28-0211
いわき・相双	山崎 学	学校法人福島県磐城第一高等学校	973-8402	いわき市内郷御殿町上宿11	0246-26-1251

6 会議、研修会

会 議 名	場 所	参加者	期 日
①JRC 県指導者協議会総会・研修会(第1回)	県支部	各地区会長18	5月11日(木)
②本社 JRC TC指導者養成講習会	国立オリンピック記念センター	指導者3	7月23日(日)～25日(火)
③県高等学校JRC連絡協議会春季総会	郡山市	メンバー・教諭	6月2日(金)
④JRC全国指導者協議会会長会議	日赤本社	会長1	6月29日(木)～30日(金)
⑤JRC県高校トレーニングセンター	猪苗代町	メンバー・教諭	7月6日(木)～8日(土)
⑥JRC県指導者講習会	いわき市	県内指導者	8月8日(火)～10日(木)
⑦JRC防災教育指導者養成講習会	郡山市	賛助奉仕団員他58名	8月22日(火)～23日(木)
⑧JRC県指導者協議会総会・研修会(第2回)	県支部	各地区会長20	11月16日(木)
⑨高等学校JRC県大会	郡山市	メンバー・教諭	11月10日(金)～11日(土)
⑩国際交流事業フィリピンJRCメンバー受入	県内	フィリピンメンバー5	11月5日(日)～11日(土)
⑪JRC指導者中央講習会	日赤本社	指導者3	11月25日(土)～26日(日)

7 県内トレーニングセンターの開催

トレーニングセンターは、青少年赤十字の教育プログラムのひとつであり、集団生活を伴う学習活動の場で赤十字と青少年赤十字について理解を深めるとともに、リーダーとして活躍できる児童・生徒の育成を目指しています。

	地 区	月 日	会 場	参加人数 概 数	主 な 内 容
小・中	福島・伊達・安達	7月27日(木)	伊達市立富成小学校	16名	赤十字救急法講習、国際理解、フィールドワーク
	郡 山	8月9日(水)・10日(木)	郡山少年自然の家	55名	講話、赤十字救急法、グループワーク、フィールドワーク
	西 白 河	7月27日(木)	表郷小学校	47名	赤十字救急法講習、非常炊き出し
	会津若松北会津	7月31日(日)	国立磐梯青少年交流の家	68名	講話、赤十字救急法講習、フィールドワーク
	耶 麻	8月2日(水)	福島県会津自然の家	88名	講話、赤十字救急法講習、野外炊飯
	両 沼	7月28日(金)	福島県会津自然の家	74名	講話、赤十字救急法講習、仲間づくり活動
	い わ き	7月28日(金)	いわき市菊田小学校	43名	講話、赤十字救急法講習、防災教育、フィールドワーク
高 校	県 高 校	7月6日(木)～8日(土)	国立磐梯青少年交流の家	74名	国際人道法、JRCのリーダー、フィールドワーク、ワークショップ等
	県 北	8月3日(木)・4日(金)	日赤福島県支部	42名	非常炊き出し、国際理解、視覚障害者の理解、非常演習、応急手当
	県 南	7月27日(木)	日赤福島県支部	33名	救急法基礎講習、非常炊き出し、支部施設見学
	会 津	8月9日(水)	福島県立会津高等学校	11名	非常炊き出し、災害図上訓練「DIG」
	い わ き	8月10日(木)	いわき生涯学習プラザ	42名	講演、認知症サポーター養成講座、高齢者疑似体験

8 指導者研修会・講習会等の開催

地 区	月 日	会 場	参加人数 概 数	主 な 内 容
福 島	4月28日(金)	福島市立第一小学校	58名	講話
伊 達	4月26日(水)	伊達市立富成小学校	24名	講話
福島・伊達・安達	7月27日(木)	伊達市立富成小学校	13名	フィールドワーク
岩 瀬	5月1日(月)	岩瀬農村環境改善センター	40名	講話
石 川	6月12日(月)	玉川村立玉川第一小学校	17名	講話、実技「まもるいのち、ひろめるぼうさい」
田 村	6月19日(月)	田村市船引公民館	35名	赤十字救急法講習
西 白 河	6月22日(木)	白河市立白川第一小学校	35名	講話、赤十字救急法講習
東 白 川	6月12日(月)	矢祭町立矢祭小学校	20名	講話、実技「まもるいのち、ひろめるぼうさい」
会津若松・北会津	7月31日(月)	磐梯青少年交流の家	18名	赤十字救急法講習
南 会 津	7月31日(月)	御蔵入交流館	22名	
相 馬	5月24日(水)	相馬市民会館	38名	講話
い わ き	7月28日(金)	いわき市立菊田小学校	9名	講話、防災教育プログラム、赤十字救急法講習

9 福島県青少年赤十字賛助奉仕団

「賛助奉仕団」とは、小中高校で青少年赤十字活動の指導にあたっていた元教員が、青少年赤十字の普及発展に寄与することを目的に活動しているボランティア組織です。

ア 団員数 6地区 合計 692名(平成29年8月1日)

県 北 99名 県 中 174名 県 南 126名

会 津 139名 いわき 37名 相 双 117名

イ 平成29年度福島県青少年赤十字賛助奉仕団役員

役職名	氏 名	備考(地区名等)	役職名	氏 名	備考(地区名等)
委 員 長	藤田 伸朔	県北地区	監 事	小田 長次	県北地区
副 委 員 長	大浪 政輝	県北地区委員長	//	壹岐 武熙	県北地区
//	川田 昌利	県中地区委員長	事 務 局 長	松田 貞夫	県北地区
//	中畑 満	県南地区委員長	幹 事	田村 良江	県北地区
//	鈴木 茂郎	会津地区委員長	//	福地 敏教	県北地区
//	長久保三男	いわき地区委員長	//	菱沼 明美	県北地区
//	鈴木 則久	相双地区委員長	//	内藤 良行	県北地区

ウ 会議等

会 議 名	場 所	参加者	期 日
①県賛助奉仕団総会	日赤県支部	各地区代議員	5月23日
②全国賛助奉仕団協議会役員会・総会	日赤本社	藤田伸朔委員長・松田貞夫事務局長	7月4日～6日
③県賛助奉仕団第13回研究懇談会	信夫第一小学校・大信中学校	団員	10月6日
④青少年赤十字100文字作品 審査協力	日赤県支部	団員	9月～11月
⑤NHK海外たすけあいキャンペーン街頭募金	県内主要市	団員	12月
⑥全国賛助奉仕団協議会役員会	日赤本社	藤田伸朔委員長・松田貞夫事務局長	3月1日～2日



10 青少年赤十字指導者協議会総会・研修会・登録式等への職員・賛助奉仕団員派遣状況

番号	開催日	青少年赤十字 地区名/加盟校名	総会	研修会/ トレセン	登録式	会 場	内 容	参加人数 (概数)	派遣職員	派遣賛助 奉仕団	役 員
1	4月7日(金)	郡山地区	○			安積総合学習 センター			土屋悦男		
2	4月11日(水)	白河市立 大信中学校			○	白河市立 大信中学校	青少年赤十字について		土屋悦男		
3	4月17日(月)	白河市立 信夫第一小学校			○	白河市立 信夫第一小学校	青少年赤十字について		土屋悦男		
4	4月19日(水)	福島市立ふく しま東幼稚園			○	福島市立 ふくしま東幼稚園					
5	4月20日(木)	福島市立 第三小学校			○	福島市立 第三小学校	青少年赤十字について				
6	4月20日(木)	会津美里 町立新鶴小学校			○	会津美里町立 新鶴小学校	青少年赤十字について			会津賛助奉仕団	鶴見常夫
7	4月24日(月)	福島市立 飯坂小学校			○	福島市立 飯坂小学校	青少年赤十字について			県北賛助奉仕団	大浪政輝
8	4月26日(水)	伊達地区	○	○		伊達市立 富成小学校	青少年赤十字について	24	土屋悦男		
9	5月1日(月)	岩瀬地区	○	○				40		県中賛助奉仕団	川田昌利ほか
10	5月24日(水)	相馬地区	○	○		相馬市民会館	青少年赤十字について			相双賛助奉仕団	鈴木則久
11	5月30日(火)	泉崎村立 泉崎幼稚園			○	泉崎村立 泉崎幼稚園					
12	6月6日(火)	相馬市立 磯部小学校			○	相馬市立 磯部小学校				相双賛助奉仕団	鈴木則久ほか
13	6月7日(火)	新地町立 福田小学校			○	新地町立 福田小学校				相双賛助奉仕団	高玉幸江ほか
14	6月12日(月)	南相馬市立石 神第一小学校			○	南相馬市立 石神第一小学校				相双賛助奉仕団	高倉胤久ほか
15	6月12日(月)	石川地区	○	○		玉川村立 玉川第一小学校	学校における青少年 赤十字活動	17		県中賛助奉仕団	鈴木英孝
16	6月19日(月)	田村地区		○		田村市船引公民館	救急法	33	佐藤敦子		
17	6月23日(金)	相馬市立 日立木小学校			○	相馬市立 日立木小学校				相双賛助奉仕団	鈴木則久ほか
18	7月27日(木)	福島・伊達・ 安達		○		伊達市立富成小学 校	トレーニングセンター	16		県北賛助奉仕団	
19	7月27日(木)	西白河地区		○		白河市立表郷小学校	トレーニングセンター	47		県南賛助奉仕団	
20	7月28日(金)	両沼地区		○		会津自然の家	トレーニングセンター	74		会津賛助奉仕団	鈴木茂郎ほか
21	7月28日(金)	いわき地区		○		いわき市立 菊田小学校	トレーニングセンター	43		いわき賛助 奉仕団	長久保三男
22	7月31日(月)	会津若松・ 北会津地区		○		磐梯青少年交流の家	トレーニングセンター	68	佐藤敦子	会津賛助奉仕団	渡部毅ほか
23	8月2日(水)	耶麻地区		○		会津自然の家	トレーニングセンター	88		会津賛助奉仕団	児島昌詮ほか
24	8月9日(水)~ 8月10日(木)	郡山地区		○		郡山自然の家	トレーニングセンター	55		県中賛助奉仕団	
25	9月21日(木)	いわき市立 郷ヶ丘小学校			○	いわき市立 郷ヶ丘小学校		95		いわき賛助 奉仕団	飯間香保子

11 青少年赤十字防災教育プログラムの普及

ア 青少年赤十字防災教育指導者養成講習会の開催

実施日 平成29年8月22日(火) ～23日(水) 場 所 ホテル華の湯

参加者 賛助奉仕団員ほか58人

内 容 日本赤十字社作製教材「青少年赤十字防災教育プログラム まもるいのち ひろめる
ぼうさい」の活用方法ほか

イ 福島県主催平成29年度「生き抜く力」を育む防災教育推進事業【地区別研究協議会】へ講師を派遣し、参加教員へ青少年赤十字防災教育プログラムの普及を図った。

	実施日	会 場	講 師
県北教育事務所	8月23日(水)	とうほう・みんなの文化センター	派遣指導員1 賛助奉2
県中教育事務所	9月6日(水)	県環境創造センター	派遣指導員1 賛助奉2
いわき教育事務所	10月3日(火)	いわき合同庁舎	派遣指導員1 賛助奉2
会津教育事務所	10月5日(木)	北会津公民館	派遣指導員1 賛助奉2
相双教育事務所	10月24日(木)	万葉ふれあいセンター	派遣指導員1 賛助奉2
南会津教育事務所	11月21日(火)	御蔵入り交流館	派遣指導員1 賛助奉2
県南教育事務所	11月28日(火)	白河合同庁舎	派遣指導員1 賛助奉2

12 青少年赤十字 詩・100文字提案作品募集(第10回)

青少年赤十字加盟校の児童生徒を対象にテーマを設け、「気づき、考え、実行したこと、しようとしたこと」を詩や100文字に表現した作品の募集を行っています。

ア 募集期間 平成29年4月1日～8月31日 (小学生・中学生・高校生)

イ 募集テーマ 詩 「いのちの詩・愛の詩」
100文字提案 「わたしのできるボランティア」
「福島・日本・世界のためにわたしがしたいこと、できること」
「わたしが感動したことばやできごと」

ウ 応募校数・応募点数 64校 5,067点

エ 作品審査会(2次) 平成29年11月13日(月)
場所：日本赤十字社福島県支部

オ 入賞作品 社 長 賞 1点
支 部 長 賞 4点
県指導者協議会長賞 1点
県賛助奉仕団委員長賞 1点

学 校 賞 6校 学校奨励賞 2校
優 秀 賞 20点 佳 作 158点
入 選 345点

カ 最優秀作品表彰式 平成29年12月25日(月) 場所：日本赤十字社福島県支部



社長賞



13 青少年赤十字国際交流事業

青少年赤十字の実践目標のひとつである「国際理解・親善」の具体的な事業として、本県の青少年赤十字メンバーを海外の赤十字加盟国へ派遣したり、海外の赤十字メンバーの受け入れを行っています。

ア 日本赤十字社福島県支部主催国際交流事業フィリピン青少年赤十字メンバー招致 参加者

	名 前	性別	所 属	支 部
スタッフ	Nora,Lulubelle M	女性	RCYスタッフ	フィリピン赤十字社職員
メンバー	Galambao,Eve Zarina	女子	RCYメンバー高校生	Zemboanga del Sur (支部)
	Fobilane,Angelo	男子	RCYメンバー	Boracay-Malay (支部)
	Fortuozza,Moirra Jane	女子	RCYメンバー大学生	Davao City (支部)
	Maravilla,Jireh Kryaler	男子	RCYメンバー高校生	Olongapo (支部)

滞在日程

行程	月 日	内 容
第1日目	11月5日 (日)	・福島着(いわき市)
第2日目	11月6日 (月)	○地域防災交流センター久ノ浜・大久ふれあい館(東日本大震災による津波、火災被害について学ぶ) ○いわき・相双地区高等学校青少年赤十字連絡協議会秋季総会参加 ○ホームステイ
第3日目	11月7日 (火)	○磐城第一高等学校(授業に参加) ○いわき総合高等学校(演劇の授業に参加、日本舞踊) ○平工業高等学校(授業見学、生徒会・JRCメンバーと交流) ○平商

行程	月 日	内 容
第4日目	11月8日 (水)	○コミュタン福島(原子力災害について学ぶ) ○日赤福島県支部訪問 ○福島赤十字病院見学 ○ホームステイ
第5日目	11月9日 (木)	○福島東陵高等学校(折り紙を体験) ○旧堀切邸見学 ○学校法人福島高校(茶道体験、相撲、剣道見学)
第6日目	11月10日 (金)	○福島県高等学校青少年赤十字連絡協議会秋季総会第50回県民大会参加
第6日目	11月11日 (土)	・帰国



県大会



日本文化に触れる

イ 青少年赤十字活動資金 青少年赤十字メンバー及び賛助奉仕団から「フィリピン青少年赤十字教育等支援事業」等への活動資金の寄託があった。

前年度繰越額	本年度寄託額	本年度使用額	本年度末残高
138,647円	73,014円	0円	211,661円

6

社会福祉活動

1 高齢者福祉対策事業

高齢者作品展示会支部長顕彰

45地区・分区で開催

2 保健衛生事業

○赤十字健康講演会

震災以降健康を害する方も多く、震災関連死が被災3県の中で福島県はとり分け多くなっている。生活習慣病の予防法などを紹介し元気に過ごしていただくために、医師等による健康講演会を開催した。

期 日	開催地	講師及び会場	参加者数 (人)
5月13日(土)	福 島 市	講師：福島赤十字病院 循環器内科部長 大和田尊之 演題：「心臓病について」 会場：福島県立図書館	33
5月15日(月)	福 島 市	講師：福島赤十字病院 薬剤部長 我妻 禎 演題：「知っておきたい薬の知識」 会場：福島市役所	32
5月26日(金)	河 沼 郡	講師：福島赤十字病院 理学療法士 鈴木かおり 演題：「転倒予防のためのエクササイズ」 会場：道の駅あいづ湯川・会津坂下交流促進施設	62
6月20日(火)	伊 達 市	講師：福島赤十字病院 副院長 宮田 昌之 演題：「骨粗しょう症について」 会場：保原中央交流会館	51
10月5日(木)	南 相 馬 市	講師：福島赤十字病院 心臓血管外科部長 安藤精一 演題：「動脈硬化と血栓症について」 会場：南相馬市原町区福祉会館	47
11月30日(木)	福 島 市	講師：福島赤十字病院 第2循環器内科部長 渡部研一 演題：「知っておきたい心筋梗塞のあれこれ」 会場：吾妻学習センター	36
合 計			261



健康講演 伊達市（保原）



健康講演 福島市（吾妻）



3 地域高齢者生活支援活動

高齢者の健康と自立した生活を地域で支えるため、一般住民を対象に赤十字奉仕団員と共に従来から継続して開催している「赤十字にこにこ健康教室」を実施した。

ア 赤十字にこにこ健康教室

主 催：日赤福島県支部、日赤地区・分区、赤十字奉仕団

対 象：原則として65歳以上の方

内 容：①健康チェック

②健康体操

③健康生活支援講習 他

④奉仕団員による手づくり昼食〔バイキング昼食〕

⑤お楽しみ会

〔ゲーム、カラオケ、クイズ、ダンス、手品等〕

地域高齢者生活支援活動（にこにこ健康教室）（再掲）

期 日	開催地	会 場	奉仕団協力		参加者	計
6月4日(日)	本 宮 市	荒井恵向応急仮設住宅	本宮奉仕団	19名	25名	44名
9月5日(火)	大 玉 村	大山公民館	大玉村奉仕団	10名	19名	29名
11月8日(水)	南 相 馬 市	馬場公会堂	原町奉仕団	12名	49名	61名
11月14日(火)	鏡 石 町	さかい集会場	鏡石町奉仕団	15名	21名	36名
合 計						170名

4 東日本大震災復興支援事業「赤十字にこにこ健康教室」

ア 目的

震災や原発事故により避難されている方が、仮設住宅等での不自由な生活により、身体やこころの健康に対して不安を抱えているため、生活不活発病の予防や介護予防、さらにはコミュニティの崩壊による孤立・孤独を和らげ軽減することを目的に開催した。

活動は、赤十字奉仕団員等と共に実施し、ボランティア活動の活性化と仮設住宅における活動の推進を図った。

イ 主催

日本赤十字社福島県支部 同地区・分区

赤十字奉仕団 仮設住宅自治会 復興住宅・災害公営住宅自治会

ウ 内容

①健康チェック…自動計測器による血圧、体脂肪測定

②健康生活支援講習…「元気にすごすために」

役立つ技術（立ち上がり方、ホットタオル、足湯）

心肺蘇生 AEDの使い方 ストレッチ体操など

③楽しい昼食

④お楽しみ会

赤十字奉仕団による歌や踊り、リラクゼーション、フラワーアレンジメント

平成29年度東日本大震災復興支援事業「赤十字にここ健康教室」

番号	期 日	会 場	対象者	協力奉仕団	健康生活支援 講習指導員	参加者 (人)	日赤スタッフ (人)	奉仕団 (人)	義スタッフ (人)	合計 (人)
1	平成29年度 5月25日(木)	会津若松市錦町町内 会館	会津地方なみえ会 地区自治会すすら ん会	会津若松市赤十字 奉仕団	武田玲子 伊藤万利子 (福島)	26	5	6	4	41
2	6月15日(木)	葛尾村社会福祉協議 会 みどり荘	葛尾村村民	葛尾村赤十字奉仕団		11	3	3	5	22
3	7月5日(水)	菅浜災害公営団地 集会所	菅浜災害公営住宅 入居者 地域の方	小高区赤十字奉仕団	武田玲子 松本琢也 (FA)	10	4	6	2	22
4	9月26日(火)	小高区東町災害公営 住宅 集会所	災害公営住宅入居 者 (南相馬市小高 区民)	小高赤十字奉仕団	武田玲子 富内直美(三重県支部)	14	4	5	1	24
5	11月16日(木)	小高区福祉サービスセ ンター	南相馬市小高区民	小高赤十字奉仕団	武田玲子 井上美咲子(岡山県支部)	33	4	5	1	43
6	12月14日(木)	鹿島区福祉サービス センター	南相馬市鹿島区民	鹿島赤十字奉仕団	伊藤万利子	30	3	6	1	40
7	平成30年 2月22日(木)	大町東団地コミュニ ティプラザ	南相馬市原町区民	原町赤十字奉仕団	武田玲子 岩崎睦子 森田マヤ(宮崎県支部)	33	4	5	1	43
8	2月28日(水)	恵下越団地 集会所	三春町恵下越団地 入居者	葛尾村赤十字奉仕団	武田玲子 平栗辰也	28	4	4	5	41
9	3月7日(水)	西部コミュニティセ ンター	南相馬市鹿島区民	鹿島赤十字奉仕団	武田玲子 岩崎睦子 石田遊星 (FA)	24	4	5	1	34
10	3月13日(水)	一箕町長原応急仮設 住宅南側集会所	会津若松市在住の 大熊町民	喜多方市赤十字奉 仕団	武田玲子 岩崎睦子	16	3	7	1	27
合 計										337

7

国際活動

日本赤十字社は、赤十字国際委員会、国際赤十字・赤新月社連盟および各国赤十字・赤新月社と連携しつつ、様々な国際活動を行っている。

1 第一ブロック支部による国際活動への参加

第一ブロック（北海道・東北6県）の各支部では、資金を拠出し、国際活動に参加しており、平成25年度からは下記の救急法普及支援事業を推進している。（東日本大震災により岩手・宮城・福島は被災3県支部は現在不参加）

第一ブロック国際活動参加費	総額	4,602,000円
（事業対象国別金額）	カンボジア	1,534,000円
	ミャンマー	1,534,000円
	東ティモール	1,534,000円

2 救急法普及支援事業

日本赤十字社では、アジア・大洋州地域における災害対策事業の一環として、各県支部拠出金とNHK海外たすけあい募金を財源として平成16年度から救急法等の講習事業を支援しており、現在、カンボジア赤十字社、ミャンマー赤十字社及び東ティモール赤十字社に対し、救急法指導者の派遣と併せて、両者が推進する救急法普及事業への財政的支援を行っている。現地の救急法指導者を対象として、救急法指導者研修会が実施され、平成29年度は福島県からも次のとおり救急法指導員を派遣した。

ア ミャンマー赤十字社救急法普及支援事業に救急法指導員を派遣

派遣期間 11月5日（日）～11月15日（水） 派遣者 救急法指導員1名（ボランティア）



ミャンマーの子どもたちと



ミャンマー赤十字社救急法指導員研修会にて

イ 東ティモール赤十字社救急法普及支援事業に救急法指導員を派遣

派遣期間 11月24日（金）～12月3日（日） 派遣者 救急法指導員1名（職員）



東ティモール赤十字社救急法指導員研修会において

3 救援金受付状況（福島県支部取扱分）

災 害 名	件 数	金 額
①無指定海外救援金	17件	86,000円
②中東人道危機救援金（累計）	21件	235,999円
〃 （平成29年度）	10件	30,565円
③2017年南アジア水害救援金	66件	244,955円
④イラン・イラク地震被災者に対する救援金	2件	15,000円

4 平成29年度「NHK海外たすけあいキャンペーン12月1日～25日」実績額および前年度比較（福島県支部取扱分）

受付区分	平成29年度			平成28年度			平成27年度	
	件数（件）	金額（円）	対前年度	件数（件）	金額（円）	対前年度	件数（件）	金額（円）
支部・施設	37	499,227	△1,193,544	741	1,692,771	794,214	723	898,557
NHK	36	1,010,044	551,111	50	458,933	△210,285	57	669,218
地方銀行	221	2,364,210	△672,944	234	3,037,154	143,918	209	2,893,236
農協(JA)	14	297,075	△7,178	14	304,253	75,436	7	228,817
漁協(JF)	1	5,000	5,000	0	0	0	0	0
本社振替郵便振替	489	6,056,858	570,398	473	5,486,460	△1,004,892	560	6,491,352
合 計	798	10,232,414	△747,157	1,512	10,979,571	△201,609	1,556	11,181,180
日赤・総計	81,331	704,476,254		76,343	635,829,119		82,367	715,267,248

赤十字奉仕団員や青少年赤十字メンバーの協力のもと、当支部主催による「海外たすけあい」街頭募金を県内8市11会場で実施した。（福島市、会津若松市、郡山市、いわき市、白河市、相馬市、南相馬市、喜多方市）

◎街頭募金 398,993円

5 安否調査

日本赤十字社は、赤十字国際委員会を中心に、世界190カ国に組織されている各国赤十字・赤新月社との連携によって紛争や災害により行方不明になった家族の消息および安否の調査を行っている。

◎平成29年度 1件 朝鮮民主主義人民共和国より依頼

8

広報・資料

社旨普及の広報活動は、赤十字の重要な業務であり、あらゆる機会に「人道・博愛」の精神の普及啓発に努めている。

また、この活動は、赤十字関係者に対する社業推進の状況報告を意味するとともに、広く県民に対する協力支持を要請する啓発活動であり、5月8日の世界赤十字デー、5月の赤十字運動月間を中心に展開している。

本年度の社旨普及、広報活動及び主な刊行物は次のとおりである。

1 日赤本社刊行物の配布

赤十字新聞（毎月1日発行）	29,500部
	6,000部×1回、6,100部×2回
パンフレット（赤十字の使命と活動）	18,359部
ポスター（年間広報）	2,257枚
青少年赤十字指導情報	2,250部
青少年赤十字機関誌（小）	1,400部
青少年赤十字機関誌（中・高）	850部
赤十字運動月間ラジオCM（20秒）	MO・MD各3枚
赤十字運動月間テレビCM（15秒、30秒）	HDカム各4本
赤十字この1年2016	DVD50枚

2 支部発行物の作成配布

ア 社員増強用資料	
赤十字社員加入と募集の手引き	31,000部
赤十字のしおり（Q&A）	9,000部
赤十字社員増強運動用チラシ	715,000部
日赤福島県支部機関紙「日赤ふくしま」第42号	380,000部
イ JRC用資料	
青少年赤十字活動4つの勧め	3,000枚
青少年赤十字研究推進校紀要	500部
青少年赤十字加盟校名簿	1,000部
うつくしまJRCフォトニュース第42号・43号・44号	各2,700枚
フィリピン派遣特集号	2,500枚
JRCふくしま（青少年赤十字福島県指導者協議会発行）	第56号 2,000部
	第57号 2,500部
わたしの青少年赤十字 詩・100文字提案作品集	5,000部
わたしの青少年赤十字 詩・100文字提案作品集10周年記念誌	1,000部

3 ホームページ等の開設（平成14年3月20日開設、平成28年3月16日リニューアル）

- ホームページ <https://fukushima.jrc.or.jp>
（平成14年3月20日開設、平成28年3月16日リニューアル）
- インスタグラム <https://www.instagram.com/nissekifukushima>
（平成29年12月1日開設）
- ツイッター <https://twitter.com/nisseki07>
（平成29年12月1日開設）
- フェイスブック <https://www.facebook.com/日本赤十字社福島県支部-1896501787332037/>
（平成29年12月1日開設）

4 新聞・テレビ・ラジオ広報

- ①新聞広告（福島民報社・福島民友新聞社）
- ②本社制作テレビCM（FTV、FCT、KFB、TUF） 30秒
- ③本社制作ラジオCM（ラジオ福島、エフエム福島、福島コミュニティ放送） 20秒

5 使用済切手運動等への協力

現在は、開発途上国における医療活動、保健衛生向上活動を行うNGO支援の一助として、青少年赤十字加盟校や県民の皆様から寄せられた使用済切手を、日本キリスト教海外医療協力会へ送付している。

平成22年度	63,674枚	平成25年度	88,375枚	平成28年度	257,582枚
平成23年度	350,424枚	平成26年度	79,427枚	平成29年度	43,950枚
平成24年度	130,200枚	平成27年度	386,544枚		

◎昭和41年からの累計 37,698,101枚

また、「使用済みプリペイドカード類」による海外援助活動にも協力しており、現在は財団法人ジョイセフ（家族計画国際協力財団）へ送付している。

6 イベント参加による広報

- ①福島地方気象台行事「お天気フェア2017in四季の里」

期日：9月9日（土）

場所：四季の里 参加人数：支部4人

内容：炊出し、ぬりえ、各種資料配布、
顔出しパネル設置、
こども救護服を着ての写真撮影



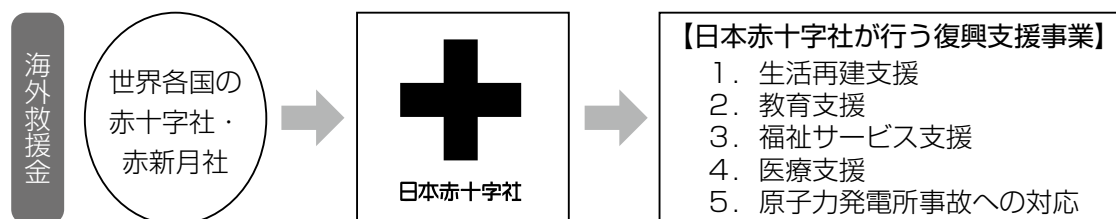
お天気フェア

9

東日本大震災復興支援事業

● 海外救援金による復興支援事業

東日本大震災の発災以降、海外の100を超える赤十字社（赤新月社）を通じて「海外救援金」（約1,000億円）が寄せられました。日本赤十字社ではこの海外救援金を財源として、ボランティアの協力を得ながら被災された方々へのさまざまな復興支援事業を実施しています。



1 復興支援「赤十字にここ健康教室」の実施（再掲）

仮設住宅で不自由な生活を送られている方に対し、不安を軽減し生活不活発の予防や介護予防、地域のコミュニティづくりに結びつくよう赤十字奉仕団の協力を得て県内各地で健康教室を実施しています。

〈内容〉 血圧・体脂肪の測定、
健康維持のための知識、
ストレッチ体操、
レクリエーション など

〈平成29年度〉 10回



2 復興支援「赤十字救急法等講習会」(再掲)

いのちと健康を守るために、いざというときのための救急法や健康を維持増進するための健康生活支援(リラクゼーション、地域で支える認知症ほか)講習会を、仮設住宅集会所等で開催しています。

〈平成29年度〉 108回



3 地区・分区及び赤十字奉仕団による支援事業

日頃から県内各地でボランティア活動を行っている赤十字奉仕団が、被災者（仮設住宅入居者等）の精神的・身体的ストレス解消と健康維持を目的として、仮設住宅集会所やサポートセンターなどにおいて、花植え、お茶会、炊き出しなどのさまざまな支援活動を行っています。

また、地域福祉等支援活動として、震災後急速に進行している高齢化に対応した地域高齢者福祉支援活動や地域における防災活動強化への取り組みも行っています。

〈平成29年度〉 延べ167件（82分区、85団）

68,206人

◎お茶会やお楽しみ会

地域の赤十字奉仕団は、それぞれ活動メニューを考え、定期的に仮設住宅入居者等を訪問し、お茶会を実施しています。また、被災者の意向を組み入れた事業、さらに年間を通して地域の文化（季節の会津郷土料理づくり）や季節感のある事業（夏まつり、芋煮会）を実施しています。



◎地域高齢者福祉支援

地域の赤十字奉仕団員は、地域包括支援への貢献に向け、認知症サポーター養成講座や赤十字救急法等を受講し、知識と技術を身につける取り組みをしています。また、一人暮らしの高齢者のもとへ季節感と栄養バランスを考えた弁当を携えて訪問し、コミュニケーションを図る活動なども行っています。



◎炊き出し訓練

赤十字奉仕団は、いざという時に備え、地域の防災訓練などに併せて、炊き出し訓練を行っています。





4 赤十字スポーツ・レクリエーション

長引く避難生活により運動不足になりがちです。そこで、ポールを持って歩くノルディックウォーキングを実施し、膝への負担を軽くし全身の運動効果を高めたり、グラウンドゴルフを実施して、運動不足の解消を図ったりするなど、みんなで話をしながら楽しく体を動かして楽しいひと時をすごしています。

〈平成29年度〉 8回 552人



5 被災学校支援

東日本大震災および原発事故により移転を余儀なくされ、仮設校舎等で学校生活を送っている小中高校生は、以前とは異なった学校生活を送り、ストレスや不安な気持ちを抱えています。そこで、対象校と相談し、各校の要望に合わせて演劇鑑賞やプロの音楽家による演奏会を実施しています。

〈平成29年度〉 小中高校及び特別支援学校 延べ24ヶ所



6 「青少年赤十字 詩・100文字」作品募集 (再掲)

県内小中高校の青少年赤十字（児童・生徒）からのちやボランティアをテーマにした作品の応募がありました。日本赤十字社社長賞をはじめ、支部長賞などの表彰を行いました。

未だに震災に関連した作品が見受けられる一方、子どもたちは確実に前を向いて歩んでいることがうかがい知れる作品も多くなってきています。

〈平成29年度〉 小中高校64校 5,067点応募



7 「青少年赤十字 防災教育プログラム」(再掲)

世界でも類を見ない複合災害を経験している福島県内の児童・生徒に向けて教育現場で「青少年防災教育プログラム」を普及・活用することを目的として、指導者の育成を行うと共に、防災教室も開催しています。

〈平成29年度〉 指導者養成等8回
防災教室5件



8 国際交流事業「フィリピン青少年赤十字メンバー招致」(再掲)

11月5日から11月11日にかけて、フィリピン青少年赤十字メンバー5名を福島県内に招き、福島県内の青少年赤十字加盟高校を巡り、また、福島県高等学校JRC連絡協議会秋季総会・第50回県大会へ参加して、県内のJRCメンバーたちと交流を深めました。さらには四倉地域防災交流センターや福島県環境創造センター、県内赤十字施設などを訪れ、東日本大震災に関する映像や復興の様子についての説明を通じ、福島県内の現状について理解を深めてもらいました。



9 復興支援活動広報事業

広報物やマスコミを活用する等の様々な手法により、海外救援金により日本赤十字社福島県支部が復興支援事業に取り組んでいることを、被災者である県民を対象に広くPRしています。

〈平成29年度〉

【メディア広報】

活動PRのため「ラジオ福島」の番組「認知症サポーター」(6月～11月 毎週土曜日5分間)に出演。

【ブース出展】

集客のある地域イベントへのブース出展。

「にこにこ祭り」(福島市)、「お天気フェア2017」(福島市)等へ出展。





【赤十字運動月間】

福島県との連携事業として「赤十字パークin県立図書館」を開催（福島市）。赤十字活動広報パネル展示他。



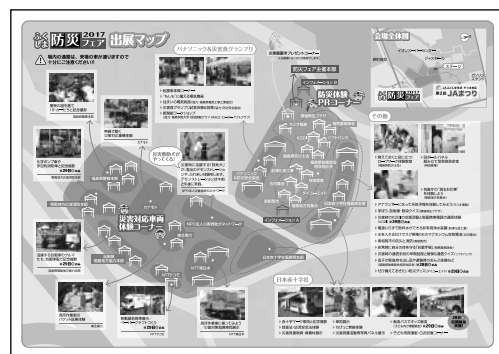
【赤十字講演会】

お天気キャスターの天達武氏による講演会を「ボランティアのつどい」に併催（郡山市）。



【広報イベント】

福島県との連携事業として「ふくしま防災フェア2017」を開催（南相馬市）。



10 医療事業

日本赤十字社の病院は、赤十字社の使命を達成するため、(1)災害時における医療救護 (2)巡回診療その他の地域福祉活動 (3)保健活動 (4)一般診療等の事業を行っている。

福島赤十字病院は、地域社会の公的医療機関としての役割の他、救急病院、地域災害医療センター、福島県原子力災害拠点病院として指定され、また、医師の臨床研修及び看護師の養成にも協力している。

1 医療施設

福島赤十字病院（福島市入江町11-31）

2 診療科（24科）

内科、糖尿病・代謝内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、神経内科、精神科、小児科、外科、心臓外科、血管外科、呼吸器外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、形成外科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、麻酔科、リハビリテーション科、救急科

3 病床数と職員数

許可病床数 348床〔一般 303床 感染症 6床 精神 39床〕
職員数 573名〔医師 56名(研修医12名含む) 看護師 306名 医療技術員 94名
その他 117名〕

4 患者数

	外 来			入 院		
	平成29年度(人)	平成28年度(人)	前年度比増減(%)	平成29年度(人)	平成28年度(人)	前年度比増減(%)
総患者数	149,300	151,422	△1.4	96,956	98,453	△1.5
新患者数	15,742	15,762	△0.1	6,496	6,544	△0.7
1日平均	614.4	623.1	△1.4	265.6	269.7	△1.5
平均在院日数(一般)	—	—	—	13.4日	13.2日	0.2日
病床利用率	—	—	—	74.4%	78.9%	△4.5%

5 紹介患者数

	平成29年度	平成28年度	前年度比増減
紹介患者数	6,646名	6,373名	4.3%
紹介率	84.8%	79.5%	5.3%

6 救急車両による搬入患者数

	平成29年度	平成28年度	前年度比増減
患者数	3,592名	3,326名	8.0%
内入院患者数	1,711名	1,614名	6.0%



7 医療機器の整備（主なもの）

品 名	メーカー	規格・型式	台数	金 額
超音波診断装置	GEヘルスケア	Voluson S6	一式	6,264,000円
一般撮影装置	日立製作所	Randnext50 (ADSmart)	一式	31,320,000円
先端湾曲ビデオスコープ	オリンパス	LTF-S190-5	一式	3,618,000円
内視鏡バージョンアップ	オリンパス	CH-S190-XZ-E	一式	8,748,000円
内視鏡システム	オリンパス	OTV-S190 OLV-S190	二式	12,420,000円

8 訪問看護ステーションの運営

訪問延べ回数 4,451回

9 各種教室及び相談

ア 各種教室

・ 母乳栄養と妊娠中の栄養	149名	・ 父親のための子育てクラス	56名
・ もうすぐお母さんクラス	32名	・ 孫育てクラス	38名
・ マタニティーヨガクラス	99名	・ お産後サークル	33名
・ 同伴分娩クラス	380名		

イ 相 談

・ 医療相談 5,999回

ウ 各種検診

・ 乳児検診（30日健診）	177名	・ 福島市10ヵ月児検診	53名
・ 各種ドック	208名	・ 協会けんぽ生活習慣病予防健診	964名
・ 福島市市民健診	2,923名	・ 妊婦健診	2,105名
・ 被ばく関連健診（小児健診）	4名	・ その他の健診	2,071名
・ 内部被ばく健診	89名		

10 指定居宅支援事業所の運営

介護保険申請代行	57件
認定調査	176件
ケアプラン作成	881件



福島赤十字病院

11 血液事業

「血液事業」とは、一般に、血液を提供していただける方を募集し、その血液を採取し、血液製剤（人の血液又は血液から得られた物を有効成分とする医薬品。輸血用血液製剤と血漿分画製剤とがある。）として、治療を必要とする患者さんのため、医療機関に供給する一連の事業のことをいいます。

1 施 設

施 設 名	住 所	電話番号
福島県赤十字血液センター	〒960-1198 福島市永井川字北原田17	024-544-2550
福島県赤十字血液センター 会津出張所	〒965-0003 会津若松市一箕町大字八幡字門田1-2	0242-24-6650
福島県赤十字血液センター いわき出張所	〒970-8044 いわき市中央台飯野5丁目1-1	0246-29-5624
福島県赤十字血液センター 郡山駅前出張所（郡山駅前献血ルーム）	〒963-8002 郡山市駅前一丁目6番10号	024-925-2638
福島県赤十字血液センター 郡山供給出張所	〒963-8044 郡山市備前館一丁目132番地	024-927-5199
福島県赤十字血液センター 相馬供給出張所	〒976-0152 相馬市栗津字栗津18番地7	0244-35-6066

2 献血及び供給

平成29年度の献血者数は、77,618人であり、平成28年度の献血者78,041人に対し、対前年比99.5%の実績で、献血方法別比率では、成分献血26.2%、400mL献血69.9%、200mL献血3.8%で、申込み者85,414人の内、献血できなかった人は7,796人（9.1%）であった。

輸血用血液製剤は、265,627単位（200mL単位換算）を供給した。

3 献血の状況

ア 献血区分別献血状況

献血方法 献血受入区分	成分献血 (人)	400mL献血 (人)	200mL献血 (人)	合 計 (人)	献血受入区分別 比 率 (%)
血 液 セ ン タ ー	12,155	5,839	152	18,146	23.4
移 動 採 血 車	0	43,104	2,510	45,614	58.8
郡 山 駅 前 出 張 所	8,219	5,329	310	13,858	17.9
合 計	20,374	54,272	2,972	77,618	100.0
献血方法比率 (%)	26.2	69.9	3.8	100.0	—

イ 性別及び年齢別献血者数

性 別 年齢 (歳)	男 性		女 性		合 計	
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
16～19	2,041	2.6	1,404	1.8	3,445	4.4
20～29	8,211	10.6	3,061	3.9	11,272	14.5



性 別 年齢（歳）	男 性		女 性		合 計	
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
30～39	10,999	14.2	3,317	4.3	14,316	18.4
40～49	17,162	22.1	4,705	6.1	21,867	28.2
50～59	15,127	19.5	4,214	5.4	19,341	24.9
60～64	4,050	5.2	965	1.2	5,015	6.5
65～69	1,887	2.4	475	0.6	2,362	3.0
合 計	59,477	76.6	18,141	23.4	77,618	100.0

ウ 性別及び職業別献血者数

性 別 職業別	男 性		女 性		合 計	
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
公 務 員	9,601	12.4	1,589	2.0	11,190	14.4
会 社 員	39,054	50.3	8,747	11.3	47,801	61.6
高 校 生	910	1.2	835	1.1	1,745	2.2
その他学生	1,598	2.1	935	1.2	2,533	3.3
そ の 他	8,314	10.7	6,035	7.8	14,349	18.5
合 計	59,477	76.6	18,141	23.4	77,618	100.0

エ 初回献血者数と再来献血者数

新規・再来別 合 計	初回献血者		再来献血者		合 計	
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
合 計	5,243	6.8	72,375	93.2	77,618	100.0

オ 献血の推移

(ア) 年度別献血者数

年 度	献血者数(人)	前年度比(%)	年 度	献血者数(人)	前年度比(%)
平成29年度	77,618	99.5	平成24年度	91,657	116.7
平成28年度	78,041	97.0	平成23年度	78,548	85.1
平成27年度	80,485	95.0	平成22年度	92,329	100.5
平成26年度	84,749	93.0	平成21年度	91,854	101.5
平成25年度	91,166	99.5			

4 血液製剤供給の状況

血液製剤調製（200mL換算）		割合（%）
全 血 製 剤	0単位	0.0
赤血球製剤	109,582単位	41.3
血漿製剤 ^{※1}	30,765単位	11.6
血小板製剤	125,280単位	47.2
合 計	265,627単位	100.0

※1 血漿製剤は、FFP-LR120を1単位、FF-LR240を2単位、FFP-LR480を4単位にて算出

5 推進会議等の開催

会 議 名	場 所	期 日
血液関係ブロック会議	秋田県	平成29年5月15日
市町村献血担当課長会議	福島市	平成29年12月21日
福島県献血推進協議会	福島市	平成30年2月1日

6 献血思想の普及啓発・行事

献血思想の普及と献血意識の高揚を図り、献血運動を推進するため、広報活動を実施した。

ア 「愛の血液助け合い運動」の実施

主 催：福島県、各市町村、日本赤十字社福島県支部

期 間：平成29年7月1日～31日

実施内容：赤十字新聞「献血特集号」、ポスター等の広報資材を各保健福祉事務所、市町村に配布、県内各方部において、赤十字奉仕団、青少年赤十字メンバー等と共に献血を呼びかけた。

街頭キャンペーン（13市）

7月 2日（日）福島市 7月 9日（日）南相馬市 7月11日（火）白河市
 7月12日（水）相馬市 7月16日（日）郡山市 7月16日（日）喜多方市
 7月17日（月）本宮市 7月23日（日）二本松市 7月23日（日）会津若松市
 7月23日（日）いわき市 7月28日（金）田村市 7月30日（日）須賀川市
 7月31日（月）伊達市

イ 「献血感謝デー」の開催

県内各地で日頃の献血に感謝し、芸人によるバラエティーショーやトン汁のサービスを行った。

主 催	場 所	期 間	献血者(人)
福島県血液センター	赤十字会館	平成30年3月11日(日)	232
会 津 出 張 所	会津出張所	平成30年3月24日(土)～25日(日)	119
い わ き 出 張 所	いわき出張所	平成30年3月6日(火)8日(木)10日(日)	75
	ヨークベニマル新谷川瀬店	平成30年2月25日(日)	45
	鹿島ショッピングセンター	平成30年3月11日(日)	46
	平	平成30年3月18日(日)	42
郡 山 駅 前 出 張 所	郡山駅前出張所	平成30年2月17日～18日(日)	42

ウ 夏休み血液センター親子見学会

夏休みを利用し、親子で献血に理解を深めてもらう行事を県内各地で開催した。

主 催	期 間	参加者
福島県血液センター	平成29年7月29日(土)8月6日(日)	子ども28名、大人24名
会 津 出 張 所	平成29年8月11日(金)	子ども18名、大人14名
い わ き 出 張 所	平成29年8月1日(火)3日(木)8日(火)10日(木)	子ども8名、大人7名
郡 山 駅 前 出 張 所	平成29年7月26日(水)27日(木)	子ども11名、大人7名

エ キャンペーン

① 「全国学生クリスマス献血キャンペーン2017」

主 催：全国学生献血推進実行委員会

期 日：平成29年12月1日～12月31日

② 平成30年「はたちの献血」キャンペーン

主 催：厚生労働省、都道府県、日本赤十字社

期 日：平成30年1月1日～2月28日



血液センター親子見学会

オ 第12回「赤十字・いのちと献血俳句コンテスト」の実施

主 催：日本赤十字社

後 援：厚生労働省、文部科学省、読売新聞社

募集期間：平成29年6月23日（金）～平成29年10月13日（金）

受賞作品（福島県内）

【血液センター所長表彰】

一 般 の 部：木本 裕子（きもと ゆうこ）様 いわき市
「献血者 のせてとせがむ 麦藁帽」

【入 選】小学校高学年の部：村山ひかり 様 白河市立表郷小学校 6年
「葉が落ちて 服を着てない 冬の木々」

中 学 生 の 部：大河原みなみ 様 いわき市立玉川中学校 2年
「献血後 キーンと冷えた レモン水」

高 校 生 の 部：草野渚々帆 様 福島県磐城第一高等学校 3年
「雨蛙 お家の庭に いりびたる」

【団 体 賞】小 学 校 の 部：白河市立表郷小学校 様 （120名、422句）

中 学 校 の 部：会津若松市立湊中学校 様 （38名、126句）

高等学校の部：学校法人山崎学園 福島県磐城第一高等学校 様 （134名、779句）

7 骨髄ドナー登録者の受入状況

骨髄移植推進財団が推進する骨髄バンク事業のうち、日本赤十字社は造血肝細胞提供支援機関の指定を受け、骨髄提供希望者の登録管理業務を行っている。

骨髄バンク集団登録説明会及び献血併行型ドナー登録会は、福島県骨髄バンク推進協議会と各保健所が中心となり、今年度は県内で57回実施され、556人が登録した。

骨髄ドナーの登録状況

（単位：人）

登録者数	施設別	福 島 県	会津出張所	いわき出張所	郡山駅前出張所	計
前年度までの登録者数		12,738	662	919	815	15,134
登 録 者		482 ^{※2}	11	23	40	559
取 消 者		702	0	0	0	702
転 入 者		0	0	0	0	0
転 出 者		0	0	0	0	0
総 登 録 者		12,518	673	942	855	14,988

※2 各保健所登録、献血併行型登録を含む

8 第53回献血運動推進全国大会における表彰

期 日：平成29年7月12日（水）

場 所：秋田県立武道館（秋田県秋田市）

ア 厚生労働大臣表彰（2団体）

郡 山 市 学校法人 郡山学院

福 島 市 株式会社ラジオ福島

イ 厚生労働大臣感謝状（8団体）

須 賀 川 市 株式会社フジ電科福島第一工場

田 村 市 月電工業株式会社船引工場

会津若松市 昭和電工株式会社東長原事業所

会津若松市 竹田綜合病院

南 相 馬 市 東北電力株式会社相双営業所

南 相 馬 市 東北電力株式会社総合研修センター

郡 山 市 クラリオンマニュファクチャリングアンドサービス株式会社

いわき市 一般社団法人いわき市薬剤師会

9 日本赤十字社有功章社員等贈与規則に基づく表彰

◎日本赤十字社福島県支部 献血団体並びに献血推進団体表彰式を開催

継続的に献血に協力をいただき日本赤十字社より表彰された献血団体及び献血推進団体に対し、その功労を称え感謝の意を表すため、表彰伝達式を開催した。

主 催 日本赤十字社福島県支部、福島県赤十字血液センター

期 日 平成29年10月4日（水）

会 場 日本赤十字社福島県支部 3階 会議室

ア 献血団体功労

①社長感謝状 1 団体

②金色有功章 15団体

③銀色有功章 6 団体

④支部長感謝状（金枠） 18団体

⑤支部長感謝状（銀枠） 54団体

イ 献血推進団体功労

①社長感謝状 1 団体

②金色有功章 5 団体

③銀色有功章 1 団体

④支部長感謝状（金枠） 2 団体

⑤支部長感謝状（銀枠） 3 団体



表彰状授与の様子

12 評議員会

(1) 平成29年6月19日 平成29年度第1回評議員会を日本赤十字社福島県支部において開催し、次の議案を審議し承認された。

- 議案第1号 平成28年度日本赤十字社福島県支部事業報告及び収支決算の承認について
- 議案第2号 平成28年度福島赤十字病院事業報告及び収支決算の承認について
- 議案第3号 平成28年度福島県赤十字血液センター事業報告の承認について

(2) 平成30年2月6日 平成29年度第2回評議員会を日本赤十字社福島県支部において開催し、次の議案を審議し承認された。

- 議案第1号 平成29年度日本赤十字社福島県支部収支予算の補正について
- 議案第2号 平成30年度日本赤十字社福島県支部事業計画及び収支予算について
- 議案第3号 平成30年度福島赤十字病院事業計画及び収支予算について
- 議案第4号 平成30年度福島県赤十字血液センター事業計画について
- 議案第5号 日本赤十字社福島県支部監査委員の選出について

13 業務監理執行及び会計の監査

平成29年5月31日、6月1日、日本赤十字社福島県支部において監査委員により、次のとおり平成28年度業務監理執行並びに会計について監査が実施され、講評が行われた。

- 平成29年5月31日 平成28年度日本赤十字社福島県支部の業務監理執行及び会計の監査
- 平成29年5月31日 平成28年度福島赤十字病院の業務監理執行及び会計の監査
- 平成29年6月1日 平成28年度福島県赤十字血液センターの業務監理執行の監査



日本赤十字社福島県支部

14 赤十字社員増強運動

1 赤十字社員増強運動の推進と成果

ア 赤十字社員数

日本赤十字社は、社員をもって組織されており、毎年5月を中心に社員増強運動を展開している。当支部の社員数は下表のとおりである。

なお、赤十字活動を理解していただいて社員として加入し、継続して支援いただける社員を確保することが重要であることから、加入（協力）の際の意思確認に努めている。

（平成30年3月31日現在）

	社 員 数
社 員（個 人）	2,894名
社 員（法 人）	791法人
合 計	3,685名・法人

イ 社資募集実績額

赤十字の事業は、社員が納入する社費（会費）と寄付金を財源として実施している。平成29年度の社資（社費及び寄付金）実績額は下表のとおりである。

（平成30年3月31日現在）

	社資目標額	社資実績額	達成率
一 般 社 資	256,299,000円	267,308,697円	104.3%
法 人 社 資	10,000,000円	28,601,881円	286.0%
合 計	266,299,000円	295,910,578円	111.1%

ウ 平成29年度社資実績額表

（平成30年3月31日現在）

	地区・分区	目 標 額 (円)	一般社資実績額 (円)	法人社資実績額 (円)	実績合計額 (円)	達成率 (実績額/ 目標額)%	前年度実績額 (円)
市 地 区	福島市地区	37,513,000	33,068,989	3,174,311	36,243,300	96.6	36,173,942
	伊達市地区	9,834,000	9,886,050	50,000	9,936,050	101.0	9,906,250
	二本松市地区	8,362,000	8,042,000	100,000	8,142,000	97.4	8,365,100
	本宮市地区	4,108,000	3,526,320	0	3,526,320	85.8	3,805,550
	郡山市地区	41,868,000	39,804,754	1,000,000	40,804,754	97.5	40,443,163
	田村市地区	5,562,000	5,121,600	0	5,121,600	92.1	6,355,800
	須賀川市地区	8,917,000	7,703,600	0	7,703,600	86.4	8,141,000
	白河市地区	8,198,000	7,209,864	10,000	7,219,864	88.1	7,487,738
	会津若松市地区	16,073,000	12,229,200	12,987,000	25,216,200	156.9	15,608,600
	喜多方市地区	7,254,000	8,781,185	0	8,781,185	121.1	10,890,115
	南相馬市地区	6,576,000	8,449,200	0	8,449,200	128.5	7,452,500
	相馬市地区	4,226,000	4,252,100	83,000	4,335,100	102.6	4,984,700
	いわき市地区	42,438,000	41,762,500	5,500	41,768,000	98.4	43,230,100
	市地区合計	200,929,000	189,837,362	17,409,811	207,247,173	103.1	202,844,558



	分 区 名	目 標 額 (円)	一般社資実績額 (円)	法人社資実績額 (円)	実績合計額 (円)	達成率 (実績額/ 目標額)%	前年度実績額 (円)
県北	川俣町分区	2,418,000	2,435,400	0	2,435,400	100.7	2,520,800
	桑折町分区	1,851,000	1,800,000	0	1,800,000	97.2	1,862,500
	国見町分区	1,723,000	1,857,916	0	1,857,916	107.8	1,883,710
	大玉村分区	985,000	1,022,000	0	1,022,000	103.8	1,000,000
	県北地区計	6,977,000	7,115,316	0	7,115,316	102.0	7,267,010
	分 区 名	目 標 額 (円)	一般社資実績額 (円)	法人社資実績額 (円)	実績合計額 (円)	達成率 (実績額/ 目標額)%	前年度実績額 (円)
県中	三春町分区	2,416,000	2,209,500	0	2,209,500	91.5	2,231,000
	小野町分区	1,580,000	1,501,500	0	1,501,500	95.0	1,506,500
	鏡石町分区	1,653,000	1,581,000	0	1,581,000	95.6	1,695,000
	天栄村分区	857,000	843,000	0	843,000	98.4	906,400
	石川町分区	2,276,000	1,999,300	0	1,999,300	87.8	2,031,770
	玉川村分区	909,000	880,000	0	880,000	96.8	896,500
	平田村分区	919,000	851,500	0	851,500	92.7	859,500
	浅川町分区	895,000	874,500	0	874,500	97.7	872,000
	古殿町分区	889,000	859,000	0	859,000	96.6	907,500
	県中地区計	12,394,000	11,599,300	0	11,599,300	93.6	11,906,170
	分 区 名	目 標 額 (円)	一般社資実績額 (円)	法人社資実績額 (円)	実績合計額 (円)	達成率 (実績額/ 目標額)%	前年度実績額 (円)
県南	西郷村分区	2,313,000	2,382,000	7,000	2,389,000	103.3	2,401,500
	泉崎村分区	798,000	826,000	0	826,000	103.5	798,000
	中島村分区	661,000	581,500	0	581,500	88.0	579,000
	矢吹町分区	2,152,000	2,080,650	0	2,080,650	96.7	2,115,600
	棚倉町分区	2,024,000	11,931,500	0	11,931,500	589.5	2,034,000
	矢祭町分区	910,000	845,000	0	845,000	92.9	851,500
	塙町分区	1,631,000	1,612,680	11,000	1,623,680	99.6	1,672,578
	鮫川村分区	594,000	613,000	0	613,000	103.2	596,000
	県南地区計	11,083,000	20,872,330	18,000	20,890,330	188.5	11,048,178
	分 区 名	目 標 額 (円)	一般社資実績額 (円)	法人社資実績額 (円)	実績合計額 (円)	達成率 (実績額/ 目標額)%	前年度実績額 (円)
会津	磐梯町分区	565,000	540,500	0	540,500	95.7	550,500
	猪苗代町分区	2,529,000	2,610,200	100,000	2,710,200	107.2	2,791,850
	北塩原村分区	527,000	483,500	0	483,500	91.7	719,431
	西会津町分区	1,382,000	1,327,500	0	1,327,500	96.1	1,442,000
	会津坂下町分区	1,992,000	1,628,900	0	1,628,900	81.8	1,700,216
	湯川村分区	438,000	513,000	0	513,000	117.1	437,500
	柳津町分区	622,000	575,000	0	575,000	92.4	583,000
	会津美里町分区	3,231,000	3,099,500	0	3,099,500	95.9	3,092,400
	三島町分区	385,000	356,600	0	356,600	92.6	375,624
	金山町分区	568,000	516,300	0	516,300	90.9	544,000
	昭和村分区	401,000	412,500	0	412,500	102.9	431,000
	会津地区計	12,640,000	12,063,500	100,000	12,163,500	96.2	12,667,521

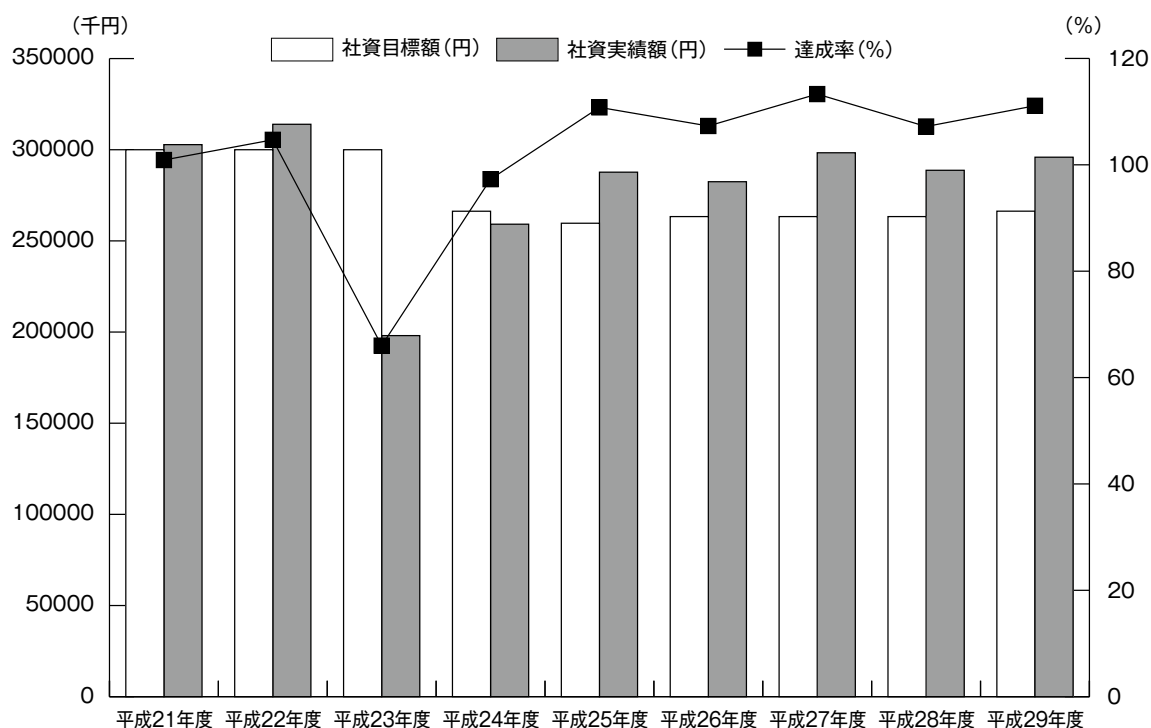
	分 区 名	目 標 額 (円)	一般社資実績額 (円)	法人社資実績額 (円)	実績合計額 (円)	達成率 (実績額/ 目標額)%	前年度実績額 (円)
南 会 津	南会津町分区	2,922,000	2,593,000	1,000	2,594,000	88.8	2,633,700
	下郷町分区	1,088,000	1,210,715	8,000	1,218,715	112.0	1,239,769
	檜枝岐村分区	118,000	103,500	0	103,500	87.7	106,500
	只見町分区	959,000	925,000	0	925,000	96.5	957,000
	南会津地区計	5,087,000	4,832,215	9,000	4,841,215	95.2	4,936,969
	分 区 名	目 標 額 (円)	一般社資実績額 (円)	法人社資実績額 (円)	実績合計額 (円)	達成率 (実績額/ 目標額)%	前年度実績額 (円)
相 双	新地町分区	1,189,000	1,233,500	0	1,233,500	103.7	1,236,500
	飯館村分区	0	595,400	1,000,000	1,595,400	-	689,800
	双葉町分区	0	215,445	369,833	585,278	-	1,121,600
	楢葉町分区	0	1,387,542	0	1,387,542	-	1,410,000
	広野町分区	0	189,240	0	189,240	-	264,300
	富岡町分区	0	188,415	0	188,415	-	430,800
	川内村分区	0	795,000	0	795,000	-	764,000
	大熊町分区	0	1,402,075	20,000	1,422,075	-	151,000
	浪江町分区	0	356,700	1,000	357,700	-	253,000
	葛尾村分区	0	320,800	0	320,800	-	176,000
	相双地区計	1,189,000	6,684,117	1,390,833	8,074,950	679.1	6,497,000
郡 地 区 計		49,370,000	63,166,778	1,517,833	64,684,611	131.0	54,322,848
地 区 分 区 計		250,299,000	253,004,140	18,927,644	271,931,784	108.6	257,167,406
支 部	支部直接(個人)	6,000,000	14,304,557	-	14,304,557	238.4	18,257,465
	支部直接(法人)	10,000,000	-	9,674,237	9,674,237	96.7	13,306,954
支 部 扱 合 計		16,000,000	14,304,557	9,674,237	23,978,794	149.9	31,564,419
一 般 社 資 合 計		256,299,000	267,308,697	-	267,308,697	104.3	271,623,533
法 人 社 資 合 計		10,000,000	-	28,601,881	28,601,881	286.0	17,108,292
福島県支部合計		266,299,000	267,308,697	28,601,881	295,910,578	111.1	288,731,825

工 社資目標額と実績額の推移

	社資目標額 (千円)			社資実績額 (円)			達成率 (%)
	一 般	法 人	合 計	一 般	法 人	合 計	
平成29年度	256,299	10,000	266,299	267,308,697	28,601,881	295,910,578	111.1
平成28年度	259,335	10,000	269,335	271,623,533	17,108,292	288,731,825	107.2
平成27年度	255,335	8,000	263,335	276,792,490	21,545,712	298,338,202	113.3
平成26年度	255,335	8,000	263,335	266,524,268	15,934,934	282,459,202	107.3
平成25年度	251,685	8,000	259,685	267,102,167	20,592,171	287,694,338	110.8
平成24年度	256,269	10,000	266,269	250,382,306	8,776,731	259,159,037	97.3
平成23年度	277,000	23,000	300,000	190,215,205	7,837,845	198,053,050	66.0
平成22年度	275,000	25,000	300,000	280,065,471	33,899,248	313,964,719	104.7
平成21年度	275,000	25,000	300,000	290,705,496	12,087,642	302,793,138	100.9



社資目標額と実績額の推移



2 表彰

ア 社資功労表彰

(ア) 厚生労働大臣感謝状 【3件】

同一年度に社資100万円以上の個人並びに300万円以上の法人

市 町 村	個 人	法 人
福 島 市	1	
会 津 若 松 市	1	
千 葉 県 野 田 市	1	

(イ) 社長感謝状 【14件】

金色有功章受章後の社資が50万円以上都度

市 町 村	個 人	法 人
福 島 市	3	2
伊 達 市	1	
郡 山 市		1
田 村 市	1	
白 河 市		1

市 町 村	個 人	法 人
南 相 馬 市	1	1
会 津 若 松 市		1
い わ き 市		1
猪 苗 代 町	1	

(ウ) 金色有功章 【26件】

社資が50万円以上

市 町 村	個 人	法 人
福 島 市	3	2
郡 山 市	1	3
須 賀 川 市	1	

市 町 村	個 人	法 人
喜 多 方 市	4	
川 俣 市		1
棚 倉 町	2	

会 津 若 松 市	2	2
南 相 馬 市	2	
白 河 市		1

双 葉 町	1	
大 熊 町	1	

(イ) 銀色有功章 【46件】

社資が20万円以上

市 町 村	個 人	法 人
福 島 市	1	9
郡 山 市	2	2
須 賀 川 市		1
白 河 市	1	2
喜 多 方 市	6	
相 馬 市		1
南 相 馬 市	5	
い わ き 市	2	4

市 町 村	個 人	法 人
国 見 町		1
鮫 川 村	1	
三 島 町		1
泉 崎 村		1
北 塩 原 村	1	
大 熊 町	2	
飯 舘 村	2	1

イ 業務功労表彰

(ア) 役職功労 【金色有功章 1件】

市 町 村	役 職	金色有功章
喜 多 方 市	地区長	1

(イ) 協賛委員 【金色有功章 2件、銀色有功章 13件】

金色有功章：在職年数20年以上 銀色有功章：在職年数15年以上

市 町 村	金色有功章	銀色有功章
郡 山 市	1	13
田 村 市	1	

(ウ) 奉仕団功労 【2件】

社長感謝状：金色有功章受章後活動年数10年以上

市 町 村	社長感謝状
川 内 村	1
浪 江 町	1

(エ) 奉仕団員等奉仕者 【金色有功章 73件、銀色有功章 197件】

金色有功章：奉仕団活動年数20年以上 銀色有功章：奉仕団活動年数15年以上

市 町 村	金色有功章	銀色有功章
福 島 市	10	6
会 津 若 松 市	2	49
郡 山 市	2	4
い わ き 市	4	11
白 河 市	14	7
須 賀 川 市		11
喜 多 方 市		4
相 馬 市	1	12
二 本 松 市		1
田 村 市	2	2

市 町 村	金色有功章	銀色有功章
湯 川 村		2
柳 津 町		3
三 島 町		20
金 山 町	2	
会 津 美 里 町	3	5
西 郷 村	1	1
棚 倉 町	2	
矢 祭 町	2	1
鮫 川 村	1	2
石 川 町	1	1



市 町 村	金色有功章	銀色有功章
南 相 馬 市	6	5
伊 達 市	4	9
本 宮 市	4	11
大 玉 村		1
下 郷 町		7
南 会 津 町	4	1
北 塩 原 村	1	
西 会 津 町	1	
猪 苗 代 町		1
会 津 坂 下 町		2

市 町 村	金色有功章	銀色有功章
玉 川 村		3
古 殿 町	2	
三 春 町		5
小 野 町	2	4
広 野 町	2	
楢 葉 町		1
富 岡 町		2
大 熊 町		1
飯 舘 村		1
宮 城 県 名 取 市		1

(㊦) 救 急 法 【金色有功章 4件、銀色有功章 9件】

金色有功章：活動年数20年以上 銀色有功章：活動年数15年以上

市 町 村	金色有功章	銀色有功章
福 島 市	1	4
会 津 若 松 市		1
い わ き 市		1
須 賀 川 市	1	1

市 町 村	金色有功章	銀色有功章
二 本 松 市	1	
本 宮 市	1	
矢 吹 町		1
棚 倉 町		1

(㊧) 救急法・水上安全法 【銀色有功章 1件】

銀色有功章：活動年数15年以上

市 町 村	銀色有功章
天 栄 村	1

(㊨) 健康生活支援講習 【銀色有功章 1件】

銀色有功章：活動年数15年以上

市 町 村	銀色有功章
伊 達 市	1

(㊩) 献血者 【金色有功章 106件、銀色有功章 157件】

金色有功章：献血100回以上 銀色有功章：献血70回以上

市 町 村	金色有功章	銀色有功章
福 島 市	17	39
会 津 若 松 市	6	6
郡 山 市	18	28
い わ き 市	18	19
白 河 市	3	5
須 賀 川 市	3	4
喜 多 方 市	4	1
相 馬 市	2	2
二 本 松 市	9	6
田 村 市	1	2
南 相 馬 市	3	4
伊 達 市	7	8

市 町 村	金色有功章	銀色有功章
三 島 町	1	
会 津 美 里 町	1	3
西 郷 村		2
中 島 村		1
矢 吹 町		1
棚 倉 町		2
塙 町		1
鮫 川 村		1
石 川 町		1
玉 川 村		1
浅 川 町		1
古 殿 町		1

市 町 村	金色有功章	銀色有功章
本 宮 市	1	3
国 見 町	1	2
川 俣 町	1	
鏡 石 町		2
南 会 津 町		1
猪 苗 代 町	2	3
会 津 坂 下 町	2	
湯 川 村	1	2
柳 津 町	1	

市 町 村	金色有功章	銀色有功章
三 春 町	1	
小 野 町		1
檜 葉 町	1	
富 岡 町	1	
川 内 村		2
大 熊 町		1
浪 江 町	1	
新 地 町		1

ウ 奉仕者等に対する厚生労働大臣特別表彰

(ア) 奉仕者 【3件】

市 町 村	功 勞	氏 名
郡 山 市	青少年赤十字指導者	今泉 春雄
い わ き 市	水上安全法指導員	鈴木 薫
川 俣 町	水上安全法指導員	吉澤 理則

(イ) 奉仕団体 【1件】

奉仕団名
郡山市赤十字奉仕団

エ 日本赤十字社創立140周年 記念大会特別表彰 社業功労者特別表彰（本社名の表彰）

(ア) 社業推進功労 【3件】

市 町 村	氏 名
福 島 市	村山 陽一
福 島 市	齋藤 忠
福 島 市	匿 名

(イ) 役職功労 【1件】

市 町 村	氏 名
郡 山 市	過足 満雄

(ウ) 地区分区功労 【7件】

相 馬 市 地 区	昭 和 村 分 区
国 見 町 分 区	川 内 村 分 区
猪 苗 代 町 分 区	檜 葉 町 分 区
塙 町 分 区	

オ 日本赤十字社創立140周年 記念大会特別表彰 社業功労者特別表彰（社長名の表彰）

(ア) 赤十字ボランティア活動 個人 【4件】

市 町 村	氏 名
福 島 市	藤田 伸朔
須 賀 川 市	林 美枝子
喜 多 方 市	佐原和佳子
南 相 馬 市	小野 洋子



(イ) 赤十字ボランティア活動 奉仕団 【4件】

南会津町田島赤十字奉仕団	矢吹町赤十字奉仕団
大玉村赤十字奉仕団	田村町赤十字奉仕団

(ウ) 青少年赤十字活動 個人 【2件】

市 町 村	氏 名
いわき市	松本 光司
福島市	齋藤 吉成

(エ) 青少年赤十字活動 団体 【4件】

福島市立福島第一小学校
学校法人福島成蹊学園 福島成蹊高等学校
学校法人山崎学園 福島県磐城第一高等学校
福島市立福島第一中学校

3 優良地区・分区の表彰

社資増強運動推進の結果、社資目標額に対し実績額が特に顕著な地区・分区に「日本赤十字社福島県支部社資功労表彰要綱」により表彰を行った。

社資目標額に対して120%以上の実績を収めた地区【3地区】

地 区	社 資 目 標 額	社 資 実 績 額	達 成 率
会津若松市地区	16,073,000円	25,216,200円	157%
喜多方市地区	7,254,000円	8,781,185円	121%
南相馬市地区	6,576,000円	8,449,200円	129%

社資目標額に対して150%以上の実績を収めた分区【1分区】

分 区	社 資 目 標 額	社 資 実 績 額	達 成 率
棚倉町分区	2,024,000円	11,931,500円	590%

4 社員管理の電算処理状況

赤十字社員の管理については、支部及び地区・分区において行っている。支部電算処理システムにより処理している地区・分区は次のとおりである。

地 域	地 区 ・ 分 区	実施数
県北地区	川俣町	1
県中地区	三春町 鏡石町 天栄村 石川町 玉川村 平田村 浅川町 古殿町	8
県南地区	西郷村 中島村 塙町 鮫川村	4
会津地区	北塩原村 西会津町 湯川村 会津美里町 金山町 昭和村 三島町	7
南会津地区	南会津町 下郷町 檜枝岐村 只見町	4
相双地区	新地町 楢葉町 広野町 富岡町 川内村 大熊町 葛尾村	7
福島市地区	渡利 北信	2
伊達市地区	伊達 梁川 保原 霊山 月舘	5
二本松市地区	二本松市 安達 岩代 東和	4
本宮市地区	本宮市	1

地 域	地 区 ・ 分 区								実施数
郡山市地区	郡山 片平	安積 喜久田	日和田 湖南	富久山 西田	熱海 中田	田村	三穂田	逢瀬	13
田村市地区	滝根	大越	常葉	船引					4
須賀川市地区	須賀川市								1
白河市地区	表郷	東	大信						3
会津若松市地区	会津若松市								1
喜多方市地区	塩川								1
南相馬市地区	南相馬市								1
いわき市地区	平 田人	内郷 好間	小名浜 三和	常磐 川前	勿来	遠野	四倉	小川	12
合 計									79地区・分区

5 地区有功会の結成状況

有功章受章者を会員とする地区（地方・分区）有功会は、現在17地区で結成されており、赤十字の社旨普及と仲間づくり（社員加入促進）を目的として活動を展開し、赤十字活動の支援組織としての役割を担っている。

	名 称	結 成	会長名	会 員 数					事務局
				社資(個)	社資(法)	業務	献血	合計	
1	福島市地区有功会	H6.4.12	栗木 繁行	27	53	0	0	80	福島市地区
2	郡山市地区有功会	H5.5.11	山内 力雄	24	39	35	0	98	郡山市地区
3	いわき市地区有功会	H5.5.25	越智 正典	9	41	19	12	81	いわき市地区
4	会津若松市地区有功会	S46.5.26	小野 隆市	74	10	2	0	86	会津若松市地区
5	喜多方市地区有功会	S49.10.28	田中 喜作	138	0	8	39	185	喜多方市地区
6	相馬市地区有功会	H13.11.22	猪又 輝雄	3	2	0	0	5	相馬市地区
7	田村市地区有功会	H18.3.23	桑原 修	7	3	26	3	39	田村市地区
8	伊達地方有功会	H6.3.24	浅野 榮	11	3	28	2	44	伊達市地区
9	安達地方有功会	S44.2.15	佐藤 興司	35	15	24	0	74	二本松市地区
10	県中地区有功会	H17.6.16	角田 文弥	24	4	0	0	28	県中地区
11	会津地区有功会	H18.5.31	東條 録	93	13	80	217	403	会津地区
12	南会津地区有功会	S47.4.5	室井 強	41	0	3	13	57	南会津地区
13	相馬地方有功会	S41.9.3	濱田 幸政	21	0	0	0	21	相双地区
14	双葉地方有功会	H6.4.19	菊地 政子	10	0	0	0	10	相双地区
15	猪苗代町分区有功会	H3.1.29	大坂 恭一	23	0	25	40	88	猪苗代町分区
合 計				540	183	250	326	1,299	

6 日本赤十字社福島県支部有功会連合会の会議等

ア 県支部有功会連合会総会

平成29年6月20日（火）

いわき市「いわき産業創造館ラトブ」

イ 日赤紺綬・有功会会長協議会

平成29年10月19日（木）～20日（金）

高松市「JRホテルクレメント高松」



ウ 県支部有功会員交流会

平成29年11月24日（金）

郡山市「ホテル華の湯」

講演 「少子高齢化と遺産寄附について」

講師 東北税理士会郡山支部 加藤英夫氏

エ 県支部有功会会報発行

平成30年2月1日（木）

会報「有功福島」 24号 1,400部発行

オ 県支部有功会運営協議会

平成30年3月9日（金）

日赤福島県支部

7 組織振興課関係会議・研修会

地区分区担当課長・ 担当者会議	期 場	日 所	平成29年4月26日（水） 福島市「福島グリーンパレス」
地区分区新任担当者 研修会	期 場	日 所	平成29年5月19日（金） 日赤福島県支部
地区長会議	期 場 議	日 所 題	平成30年1月15日（月） 日赤福島県支部 1 平成30年度一般社資目標額（案）について 2 平成30年度事業計画（案）について
平成29年 全国赤十字大会	期 場 参加者数	日 所	平成29年5月 東京都「明治神宮会館」 30名（全体で約1,900名）

15 会計報告

1 平成29年度一般会計歳入歳出決算報告

福島県支部

(円)

収 入		支 出	
科 目 (項)	金 額	科 目 (項)	金 額
社 資 収 入	295,930,578	災 害 救 護 事 業 費	32,285,924
委 託 金 等 収 入	3,203,688	社 会 活 動 費	134,360,667
補助金及び交付金収入	77,831,682	国 際 活 動 費	20,000
繰 入 金 収 入	4,220,000	指定事業地方振興費	3,820,000
貸付金償還金収入	6,760,000	地区分区交付金支出	52,607,773
雑 収 入	3,314,778	社 業 振 興 費	35,613,891
前 年 度 繰 越 金	51,629,868	基盤整備交付金・補助金支出	2,052,000
		償 還 金 支 出	6,760,000
		積 立 金 支 出	32,750,764
		総 務 管 理 費	43,652,985
		資産取得及び資産管理費	7,227,189
計	442,890,594	本 社 送 納 金 支 出	43,021,586
収入支出差引額	48,717,815	計	394,172,779

2 平成29年度医療施設特別会計歳入歳出決算報告

福島赤十字病院

収益の収入及び支出

(円)

収 入		支 出	
科 目 (項)	金 額	科 目 (項)	金 額
医 業 収 益	6,887,324,492	医 業 費 用	6,998,297,824
医 業 外 収 益	145,321,804	医 業 外 費 用	147,452,667
医療社会事業収益	2,205,981	医 療 奉 仕 費 用	102,229,752
付 帯 事 業 収 益	54,494,366	付 帯 事 業 費 用	56,232,041
特 別 利 益	282,170	特 別 損 失	14,068,140
		法 人 税 等	1,163,074
計	7,089,628,813	計	7,319,443,498
収入支出差引額	△229,814,685		

資本的収入及び支出

(円)

収 入		支 出	
科 目 (項)	金 額	科 目 (項)	金 額
固 定 負 債	4,441,192,744	固 定 資 産	4,431,861,877
資 産 売 却 収 入	0	借 入 金 等 償 還	81,278,008
そ の 他 資 本 収 入	71,947,141		
計	4,513,139,885	計	4,513,139,885
収入支出差引額	0		

16

日本赤十字社福島県支部役員名簿

(平成30年7月1日現在)

役職名	氏 名	公 職 名
支 部 長	内堀 雅雄	福島県知事
副支部長	畠 利行	福島県副知事
監査委員	猪狩 正明	福島県法人会連合会会長
//	横山 克英	会津若松市地区有功会副会長
//	村瀬 久子	社会福祉法人北信福祉会法人本部部長
本社理事	小櫻 輝	会社役員
代 議 員	小櫻 輝	会社役員
//	遠藤 君子	郡山市地区有功会副会長
//	星 光政	元福島県支部事務局長
//	濱田 幸政	相馬地方有功会会長
//	越智 正典	日赤県支部有功会連合会長
//	佐原和佳子	赤十字奉仕団福島県支部委員会委員長
評 議 員	加藤 孝一	福島市健康福祉部長
//	高村 劼	福島市地区有功会理事
//	阿部 隆	福島市地区有功会理事
//	佐藤 和子	福島市平野赤十字奉仕団委員長
//	武藤 達雄	会津若松市地区有功会監事
//	長谷川健二郎	会津若松市健康福祉部長
//	過足 満雄	会社役員
//	太田 健三	郡山市社会福祉協議会長
//	遠藤 広文	郡山市保健福祉部長
//	強口 暢子	いわき市社会福祉協議会長
//	高沢 祐三	いわき市保健福祉部長
//	鵜沼 宏二	平地区保健福祉センター所長
//	齋藤 七重	遠野方部赤十字奉仕団委員長
//	鈴木 正	白河市保健福祉部長
//	水野 良一	須賀川市健康福祉部長
//	武藤 顯夫	喜多方市社会福祉協議会長
//	只野 裕一	相馬市社会福祉協議会長
//	安齋 英雄	二本松市社会福祉協議会長
//	宗形 常美	田村市保健福祉部長
//	村上 勇一	南相馬市社会福祉協議会事務局長
//	菅野 康弘	伊達市健康福祉部長
//	矢吹 誠司	本宮市保健福祉部長

役職名	氏 名	公 職 名
評 議 員	太田 久雄	国見町長
//	澤村 和明	平田村長
//	添田 勝幸	天栄村長
//	加藤 幸一	中島村長
//	大樂 勝弘	鮫川村長
//	前後 公	猪苗代町長
//	長谷川盛雄	金山町長
//	室井 強	南会津地区有功会会長
//	濱田 幸政	相馬地方有功会会長
//	菊地 政子	双葉地方有功会会長
//	佐原和佳子	赤十字奉仕団福島県支部委員会委員長
//	高橋 雅行	福島民報社代表取締役社長
//	鈴木千賀子	福島県社会福祉協議会常勤副会長
//	五阿弥宏安	福島民友新聞社代表取締役社長・編集主幹
//	耕田 祐子	青少年赤十字福島県指導者協議会長
//	越智 正典	日赤県支部有功会連合会長
支部参与	佐藤 宏隆	福島県保健福祉部長
//	武田 和也	福島県保健福祉部参事兼保健福祉総務課長
//	大野 俊英	福島県保健福祉部社会福祉課長
//	木村 隆弘	福島県保健福祉部業務課長
//	成田 良洋	福島県危機管理部長
//	友 敏光	福島県危機管理部災害対策課長
//	鈴木 淳一	福島県教育委員会教育長
//	熊田 孝	福島県教育庁政策監
//	菊池 篤志	福島県教育庁参事兼社会教育課長
//	佐藤 秀美	福島県教育庁参事兼義務教育課長
//	星 光政	元日赤県支部事務局長
//	谷口 幸子	元日赤県支部事務局長
//	高萩 秀則	元日赤県支部事務局長
//	穴沢 正行	元日赤県支部事務局長
//	野崎 洋一	前日赤県支部事務局長

資料編

平成29年度日本赤十字社福島県支部現勢

(平成30年3月31日現在)

■沿革

明治22年(1889) 6月…日本赤十字社福島県委員部発足
 明治27年(1894) 1月…福島県委員部を福島支部と改称
 昭和18年(1943) 8月…福島療院開設
 昭和19年(1944) 8月…福島療院を福島赤十字病院と改称
 昭和27年(1952) 10月…日本赤十字社福島県支部と改称
 昭和37年(1962) 2月…福島赤十字病院移転新築
 昭和46年(1971) 4月…日本赤十字社福島県支部移転新築
 昭和46年(1971) 4月…福島県赤十字血液センター開設
 昭和56年(1981) 4月…福島県会津赤十字血液センター開設
 昭和61年(1986) 4月…福島県いわき赤十字血液センター開設
 昭和63年(1988) 11月…福島県赤十字血液センター郡山駅出張所開設
 平成10年(1998) 4月…日本赤十字社福島県支部移転新築
 平成10年(1998) 4月…福島県赤十字血液センター移転新築
 平成11年(1999) 11月…福島県赤十字血液センター郡山供給出張所開設
 平成13年(2001) 9月…福島県赤十字血液センター原町供給出張所開設
 平成18年(2006) 7月…福島県赤十字血液センター郡山駅出張所移転(リニューアル)
 平成23年(2011) 11月…福島県赤十字血液センター相馬供給出張所移転
 平成24年(2012) 3月…福島県赤十字血液センター郡山供給出張所移転
 平成27年(2015) 6月…福島県赤十字血液センター相馬供給出張所移転
 平成29年(2017) 2月…福島県赤十字血液センター郡山駅前出張所移転

■社員…………社員(個人) 2,894名、社員(法人) 791法人(平成30年3月31日現在)

■評議員…………38名

■役員 支部長 内堀 雅雄 副支部長 畠 利行
 監査委員 3名 参与 14名

■施設及び職員

施設名	所在地		職員数
日本赤十字社福島県支部	〒960-1197 福島市永井川字北原田17	024-545-7997	21名
福島赤十字病院	〒960-8530 福島市入江町11-31	024-534-6101	573名
福島県赤十字血液センター	〒960-1198 福島市永井川字北原田17	024-544-2550	66名
福島県赤十字血液センター会津出張所	〒965-0003 会津若松市一箕町大字八幡字門田1-2	0242-24-6650	16名
福島県赤十字血液センターいわき出張所	〒970-8044 いわき市中央台飯野五丁目1-1	0246-29-5624	18名
福島県赤十字血液センター郡山駅前出張所(郡山駅前献血ルーム)	〒963-8002 郡山市駅前一丁目6番10号	024-925-2638	14名
福島県赤十字血液センター郡山供給出張所	〒963-8044 郡山市備前館一丁目132番地	024-927-5199	9名
福島県赤十字血液センター相馬供給出張所	〒976-0152 相馬市栗津字栗津18番地7	0244-35-6066	4名



■県市町村組織

	合計数	郡	市	町 村
地 区	19	6	13	—
分 区	108	—	62	46
計	127	6	75	46

■災害救護

救護班・救護員	8班・297名（平成29年4月1日現在）		
無 線 局	基地局	2局、移動局	42局
救 援 車 両	12台		
救 援 物 資 （ 在 庫 数 ）	毛 布	6,082枚	
	バスタオル	2,397枚	
	緊急セット	3,436個	
	安眠セット	540個	
	タオルケット	100枚	

■医療事業

施 設 名	福島赤十字病院		
診 療 科・病 床 総 数	24科	348床	
患 者 数	入院	96,956名／1日平均	265.6名
	外来	149,300名／1日平均	614.4名

■血液事業

献 血 者 数		血液製剤供給（200mL換算）	
成 分 献 血	20,374名	赤 血 球 製 剤	109,582単位
400mL 献 血	54,272名	血 漿 製 剤	30,765単位
200mL 献 血	2,972名	血 小 板 製 剤	125,280単位
合 計	77,618名	合 計	265,627単位

■青少年赤十字

幼 稚 園	12園	853名
小 学 校	447校	85,580名
中 学 校	223校	48,352名
高 等 学 校	40校	4,174名
特別支援学校	3校	267名
合 計	725校	139,226名
研究推進校指定	小学校 2校、中学校 2校	

■赤十字奉仕団

地 域	107団	8,886名
青 年	5団	202名
特 殊	34団	1,185名
合 計	146団	10,273名
指 導 講 師	7名	

■講習普及活動

	指 導 員	受講者数
救 急 法	111名	9,603名
水 上 安 全 法	17名	638名
幼 児 安 全 法	37名	485名
健康生活支援講習	27名	3,095名
合 計	192名	13,821名

■看護師養成

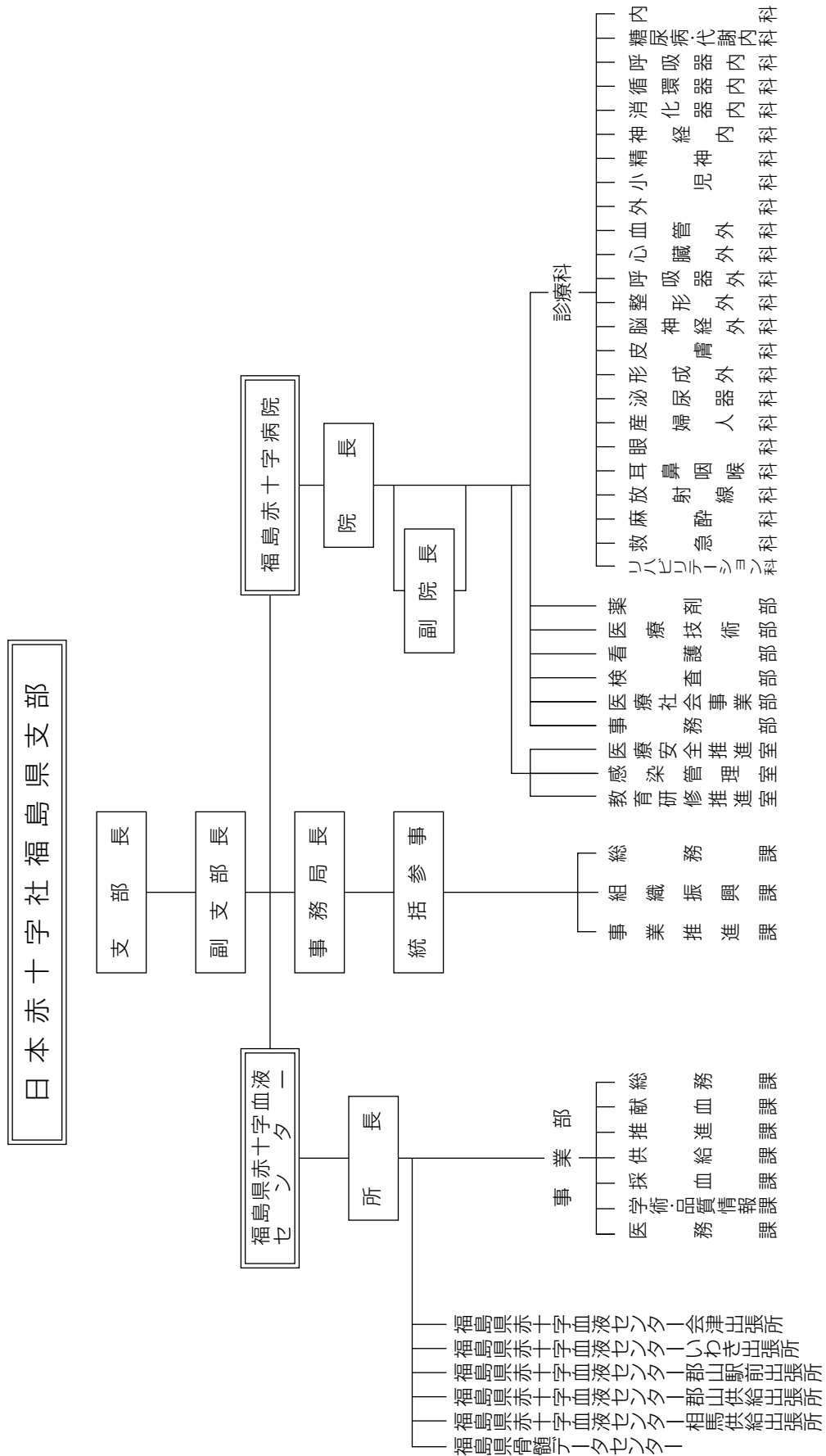
学 校	学 生 数
日本赤十字秋田看護大学	14名

■国際活動

第 一 ブ ロ ッ ク 支 部 参 加 事 業	救急法普及支援事業	4,602,000円
	（内訳）	
	カンボジア	1,534,000円
	ミャンマー	1,534,000円
	東ティモール	1,534,000円

組織機構

(平成30年4月1日現在)





福島県赤十字会館

日本赤十字社 福島県支部

TEL 024-545-7997

〒960-1197 福島県福島市永井川字北原田17

福島県赤十字血液センター

TEL 024-544-2550

〒960-1198 福島県福島市永井川字北原田17



周辺地図



- JR南福島駅より徒歩15分 福島県立明成高等学校西隣り
- 福島西インターより車で5分 福島方面に進み信号2つ目を右折



日本赤十字社キャラクター

ハートちゃん

日本赤十字社 福島県支部

〒960-1197 福島市永井川字北原田17

☐ 総務課	☎ (024) 545-7997	☎ (024) 545-7923
☐ 組織振興課	☎ (024) 545-7998	☎ (024) 545-7924
☐ 事業推進課	☎ (024) 545-7996	☎ (024) 545-7923

ホームページ <https://fukushima.jrc.or.jp>